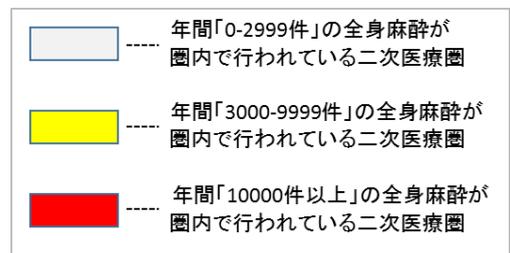
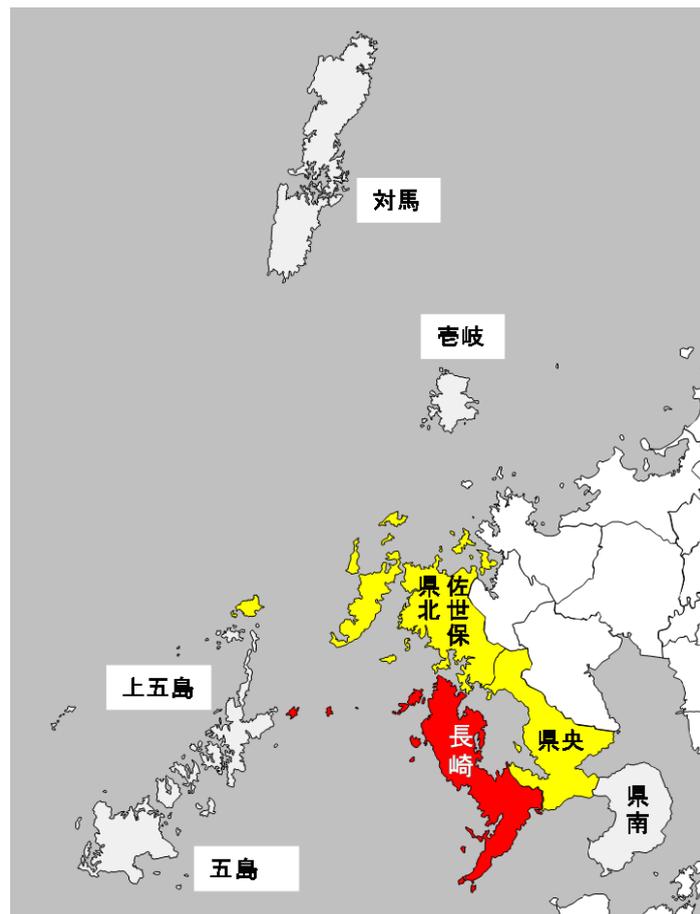


# 42. 長崎県

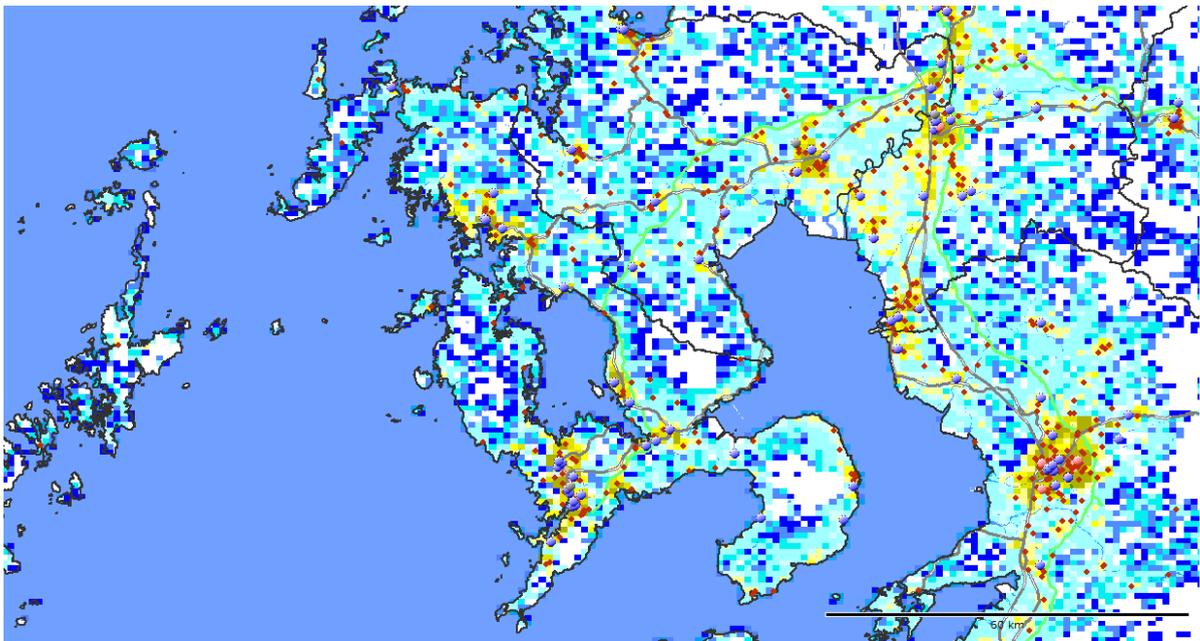


目次

長崎県	42	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	42	-	8
1. 長崎医療圏	42	-	26
2. 佐世保県北医療圏	42	-	31
3. 県央医療圏	42	-	36
4. 県南医療圏	42	-	41
5. 五島医療圏	42	-	46
6. 上五島医療圏	42	-	51
7. 壱岐医療圏	42	-	56
8. 対馬医療圏	42	-	61

# 42. 長崎県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (長崎県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 長崎県は、総人口約1,377千人(2015年)、面積4,132km<sup>2</sup>、人口密度は333人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 長崎県の総人口は2025年に1,258千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に1,054千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の214千人が、2025年にかけて251千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には262千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 長崎県の一人当たり医療費(国保)は421千円(偏差値65)、介護給付費は281千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 長崎県の一人当たり急性期医療密度指数は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数は1.88で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が56(病院医師数55、診療所医師数58)と、総医師数、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は65で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 長崎県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、21,971人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が12,181床(偏差値46)、高齢者住宅等が9,790床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、17,686人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム41、軽費ホーム60、グループホーム67、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値61と多く、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、2,316人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

長崎県の総人口は、2005年1,478,632人が、2015年に1,377,187人と7%減少し、2025年の人口が1,257,939人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

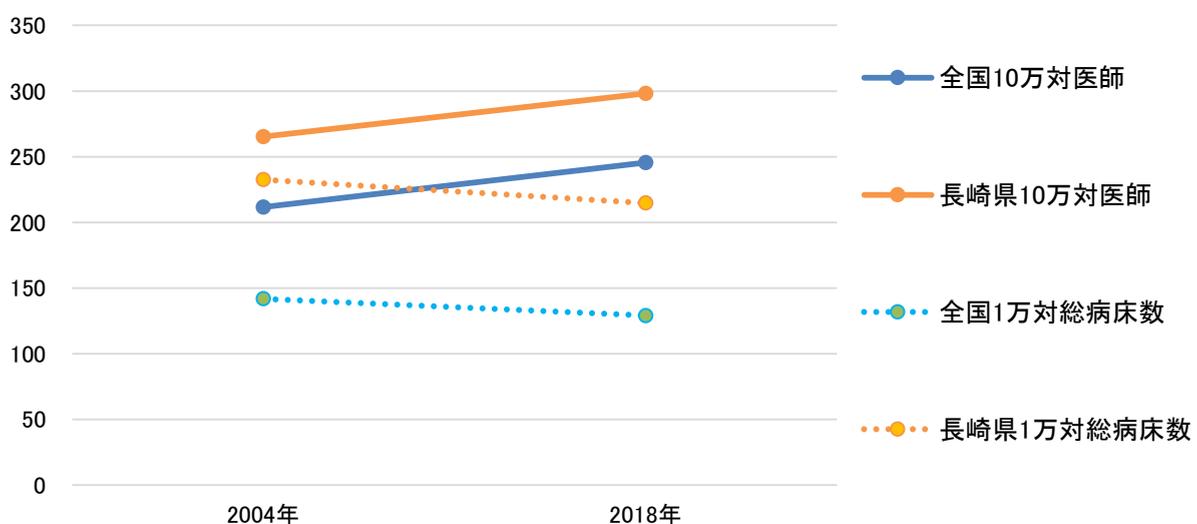
2004年の病院数が169(人口10万人当たり11.4病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2018年に149(人口10万人当たり10.8病院(全国平均6.6)偏差値61)となり、14年間で20病院が減少した。

2004年の診療所数が1,450(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2018年に1,383(人口10万人当たり100診療所(全国平均80)偏差値61)と、67診療所が減少した。

2004年の総病床数が34,382床(人口1万人当たり233(全国平均142)偏差値66)であったが、2018年に29,576床(人口1万人当たり215(全国平均129)偏差値66)と、4,806床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

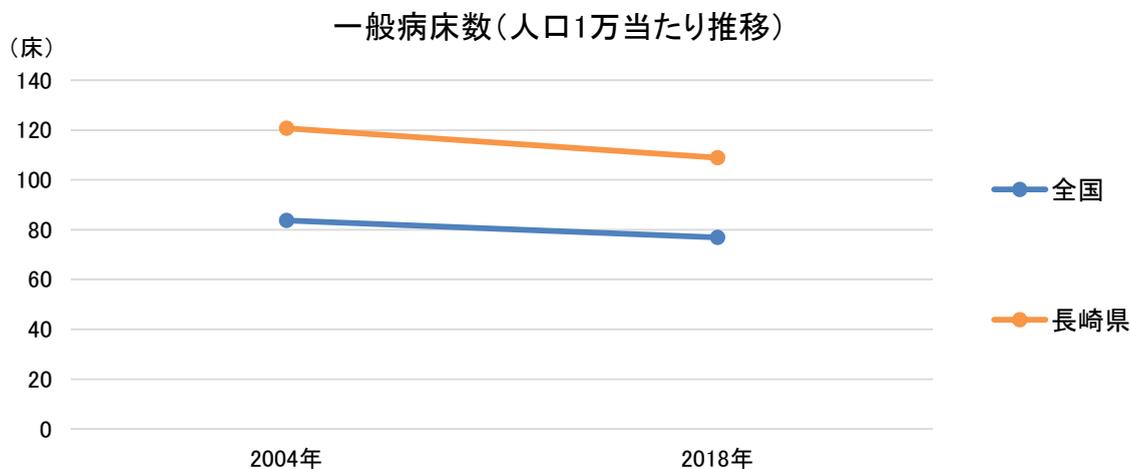
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,924人(人口10万人当たり265人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2018年に4,108人(人口10万人当たり298人(全国平均245人)偏差値56)と、184人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



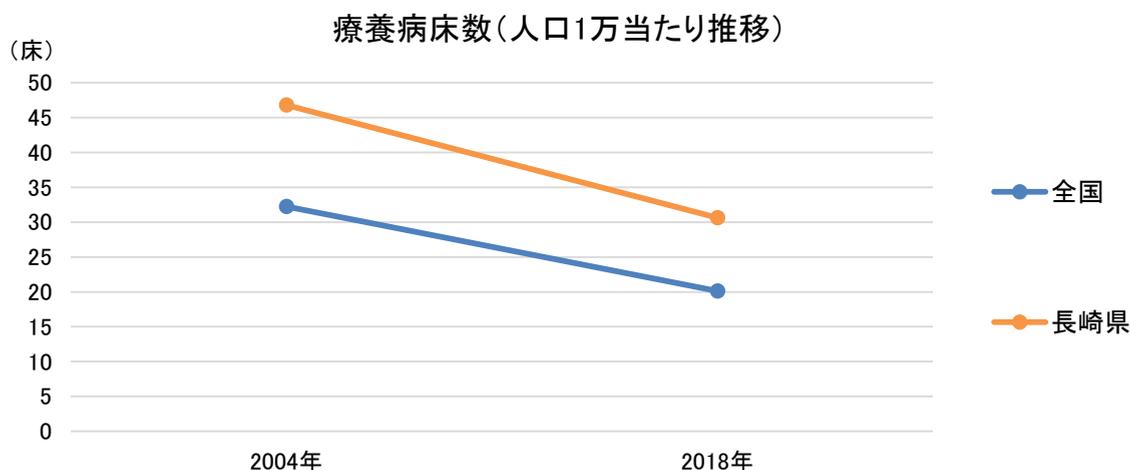
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が17,860床(人口1万人当たり121(全国平均84)偏差値63)であったが、2018年に14,999床(人口1万人当たり109(全国平均77)偏差値62)と、2,861床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



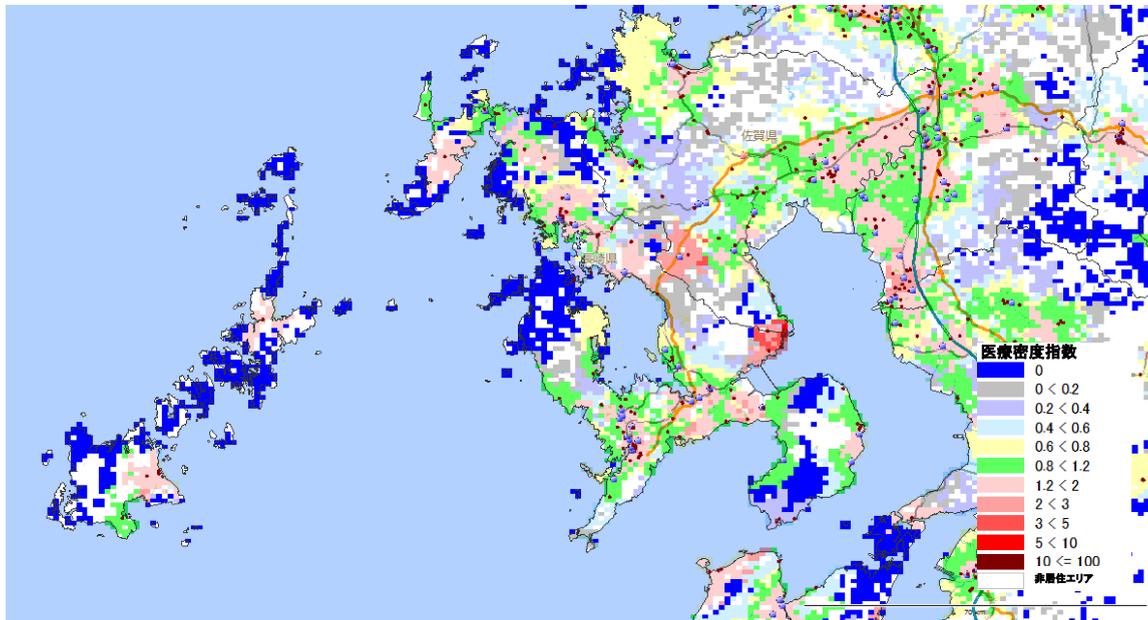
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が8,000床(75歳以上1,000人当たり47(全国平均32)偏差値58)であったが、2018年に6,566床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均20)偏差値60)と、1434床の減少、率にして18%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



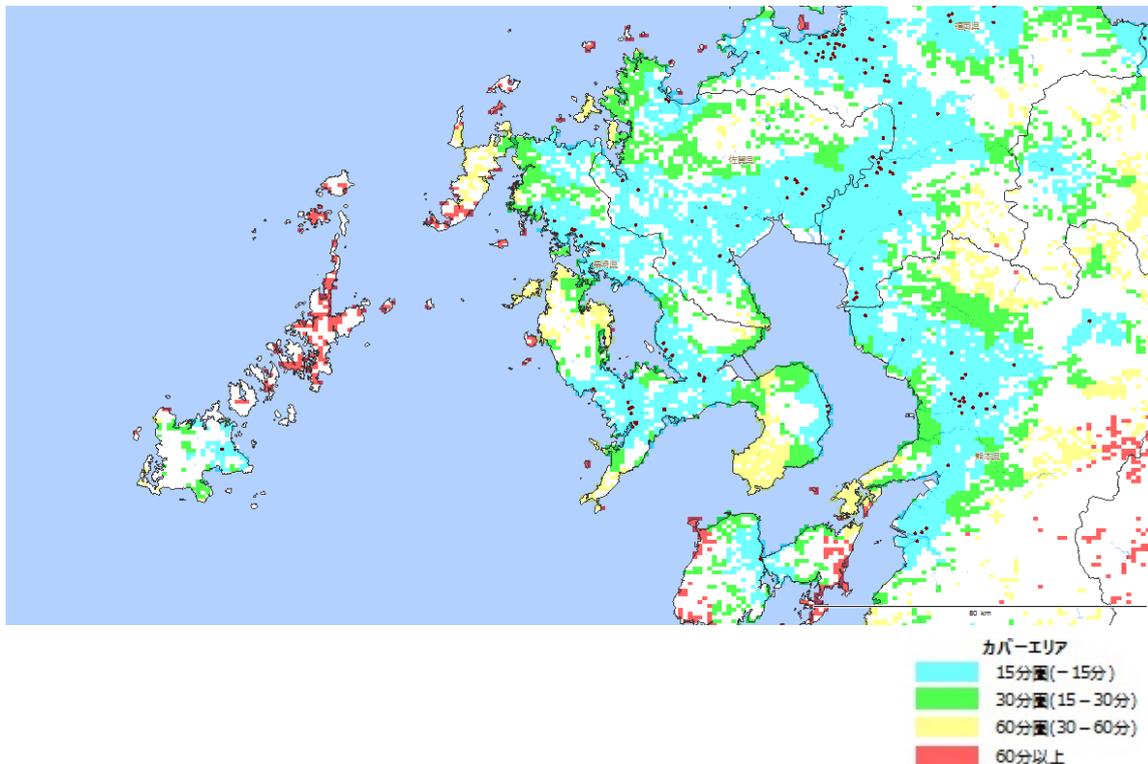
## (長崎県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 42-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
長崎県	1,377	29位	4,132	37位	333.3		30%	1,258	1,054	214	251	262	-9%	-16%	17%	4%
長崎	531	39%	697	17%	761.1	地方都市型	29%	488	412	78	96	103	-8%	-16%	23%	7%
佐世保県北	324	24%	824	20%	393.6	地方都市型	30%	299	256	51	59	57	-8%	-14%	16%	-3%
県央	268	19%	636	15%	421.5	地方都市型	26%	258	232	35	45	52	-4%	-10%	29%	16%
県南	136	10%	467	11%	291.2	地方都市型	34%	118	90	26	27	28	-13%	-24%	4%	4%
五島	37	3%	420	10%	88.9	過疎地域型	37%	30	21	8	8	8	-19%	-30%	0%	0%
上五島	22	2%	239	6%	93.0	過疎地域型	39%	17	10	5	5	4	-23%	-41%	0%	-20%
杵岐	27	2%	139	3%	194.4	過疎地域型	35%	23	16	5	5	5	-15%	-30%	0%	0%
対馬	31	2%	709	17%	44.4	過疎地域型	34%	25	16	6	6	5	-19%	-36%	0%	-17%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月  
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月  
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月

資\_図表 42-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
長崎県	1.12	1.88	19,160	20,530	-7.2%
長崎	1.34	2.15	6,082	7,816	-28.5%
佐世保県北	1.14	1.60	5,452	4,800	12.0%
県央	1.07	2.20	2,476	3,706	-49.7%
県南	0.55	0.66	2,818	2,245	20.3%
五島	1.04	1.06	849	653	23.1%
上五島	0.51	2.75	523	388	25.9%
杵岐	0.81	0.82	398	450	-13.0%
対馬	0.84	2.05	562	474	15.7%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) )  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資\_図表 42-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
長崎県	421	65	1.163	196	68	1.387	200	54	1.022	281	58
長崎	451	72	1.230	204	71	1.425	219	65	1.105	283	58
佐世保県北	403	61	1.107	189	66	1.332	190	49	0.966	279	57
県央	432	67	1.179	210	73	1.472	195	52	0.988	244	47
県南	387	57	1.130	180	63	1.345	184	46	0.998	318	69
五島	363	52	0.968	170	60	1.153	175	40	0.870	337	74
上五島	396	59	1.019	184	65	1.203	188	48	0.899	318	69
杵岐	418	64	1.170	202	70	1.450	196	52	1.015	287	59
対馬	364	52	1.013	169	60	1.203	174	40	0.900	275	56
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 42-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
長崎県	1,085	63	1.166	613	65	1.291	440	53	1.045
長崎	1,254	77	1.362	710	74	1.514	503	70	1.202
佐世保県北	997	56	1.073	555	59	1.169	413	46	0.980
県央	1,057	61	1.147	612	65	1.309	413	46	0.983
県南	1,016	57	1.092	589	62	1.232	400	43	0.956
五島	793	39	0.854	404	44	0.844	370	35	0.888
上五島	782	38	0.844	389	42	0.820	370	35	0.881
杵岐	958	52	1.024	560	59	1.161	378	37	0.901
対馬	832	42	0.905	446	48	0.963	371	35	0.879
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

42.長崎県(2019年版)

資\_図表 42-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
長崎県	149	1.8%	10.8	61	1,383	1.4%	100	61
長崎	53	36%	10.0	59	640	46%	121	71
佐世保県北	35	23%	10.8	61	271	20%	84	52
県央	32	21%	11.9	64	251	18%	94	57
県南	17	11%	12.5	65	108	8%	79	49
五島	4	3%	10.7	60	41	3%	110	66
上五島	1	1%	4.5	45	22	2%	99	60
舌岐	5	3%	18.4	80	17	1%	63	41
対馬	2	1%	6.4	49	33	2%	105	63
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 42-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
長崎県	1,383	1.4%	100	61	1,143	1.2%	83	54	240	3.5%	17.4	71
長崎	640	46%	121	71	562	49%	106	66	78	33%	14.7	66
佐世保県北	271	20%	84	52	208	18%	64	44	63	26%	19.4	74
県央	251	18%	94	57	194	17%	72	49	57	24%	21.3	77
県南	108	8%	79	49	75	7%	55	40	33	14%	24.2	83
五島	41	3%	110	66	34	3%	91	59	7	3%	18.8	73
上五島	22	2%	99	60	21	2%	94	60	1	0%	4.5	48
舌岐	17	1%	63	41	17	1%	63	44	0	0%	0	41
対馬	33	2%	105	63	32	3%	102	64	1	0%	3.2	46
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 42-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
長崎県	26,037	1.7%	1,891	64	3,539	3.7%	257	70	29,576	1.8%	2,148	66
長崎	11,057	42%	2,084	68	1,167	33%	220	66	12,224	41%	2,304	69
佐世保県北	5,694	22%	1,756	61	888	25%	274	72	6,582	22%	2,030	64
県央	5,555	21%	2,072	68	845	24%	315	76	6,400	22%	2,387	71
県南	2,198	8%	1,615	58	521	15%	383	84	2,719	9%	1,998	63
五島	508	2%	1,361	53	95	3%	255	70	603	2%	1,615	56
上五島	186	1%	835	42	17	0%	76	50	203	1%	911	43
杵岐	504	2%	1,860	63	0	0%	0	42	504	2%	1,860	61
対馬	335	1%	1,065	47	6	0%	19	44	341	1%	1,084	46
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 42-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
長崎県	11,901	1.3%	864	57	6,125	1.9%	445	60	7,881	2.4%	572	65
長崎	4,747	40%	895	59	2,491	41%	470	61	3,792	48%	715	72
佐世保県北	2,675	22%	825	56	1,534	25%	473	61	1,459	19%	450	59
県央	2,612	22%	974	62	1,063	17%	397	57	1,843	23%	687	70
県南	827	7%	608	46	763	12%	561	65	604	8%	444	59
五島	380	3%	1,018	64	54	1%	145	45	60	1%	161	45
上五島	132	1%	593	45	50	1%	224	49	0	0%	0	38
杵岐	246	2%	908	59	170	3%	627	69	78	1%	288	51
対馬	282	2%	896	59	0	0%	0	37	45	1%	143	44
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 42-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
長崎県	1,210	1.5%	88	55	2,223	2.8%	161	64
長崎	643	53%	121	62	944	42%	178	66
佐世保県北	246	20%	76	53	396	18%	122	58
県央	201	17%	75	52	306	14%	114	57
県南	120	10%	88	55	256	12%	188	68
五島	0	0%	0	36	117	5%	313	85
上五島	0	0%	0	36	44	2%	198	69
杵岐	0	0%	0	36	56	3%	207	70
対馬	0	0%	0	36	104	5%	331	88
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資\_図表 42-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
長崎県	6,813	6,081	240	19,105	5,788	5,888	51.2%	53	3.9%	49
長崎	1,964	1,898	0	9,008	2,838	2,491	40.1%	48	0.0%	48
佐世保県北	1,756	1,648	82	3,912	1,014	1,451	61.9%	57	5.3%	50
県央	1,581	1,376	0	3,987	1,230	1,086	52.8%	53	0.0%	48
県南	404	340	60	1,794	485	705	41.2%	49	7.8%	51
五島	359	285	0	149	95	54	75.0%	62	0.0%	48
上五島	186	132	50	0	0	0	100.0%	71	100.0%	92
杵岐	228	120	48	255	126	101	48.8%	52	32.2%	62
対馬	335	282	0	0	0	0	100.0%	71		
出典	地方厚生局指定一覧令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 42-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
長崎県	25,752	1.2%	1,870	52	11,844	1.3%	860	55
長崎	13,236	51%	2,495	59	4,416	37%	832	54
佐世保県北	6,444	25%	1,987	53	2,868	24%	884	56
県央	4,848	19%	1,808	51	3,036	26%	1,132	65
県南	756	3%	556	35	1,020	9%	750	51
五島	0	0%	0	29	144	1%	386	37
上五島	0	0%	0	29	108	1%	485	41
杵岐	324	1%	1,195	43	48	0%	177	29
対馬	144	1%	458	34	204	2%	649	47
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 42-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
長崎県	4,108	1.3%	298	56	2,732	1.3%	198	55	1,376	1.3%	100	58
長崎	2,076	51%	391	66	1,375	50%	259	63	701	51%	132	71
佐世保県北	756	18%	233	49	512	19%	158	49	244	18%	75	47
県央	831	20%	310	57	562	21%	210	56	269	20%	100	58
県南	244	6%	179	43	145	5%	107	42	99	7%	73	46
五島	75	2%	201	45	47	2%	126	45	28	2%	75	47
上五島	31	1%	139	38	23	1%	103	42	8	1%	36	31
杵岐	41	1%	151	40	29	1%	107	42	12	1%	44	34
対馬	54	1%	172	42	39	1%	124	45	15	1%	48	36
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

42.長崎県(2019年版)

資\_図表 42-13 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
長崎県	365	1.3%	26.5	53	151	1.1%	11.0	50	145	1.3%	10.5	54
長崎	213	58%	40.1	65	72	48%	13.6	55	72	50%	13.6	62
佐世保県北	67	18%	20.7	48	24	16%	7.4	43	28	19%	8.6	49
県央	56	15%	20.9	48	47	31%	17.5	63	24	17%	9.0	50
県南	15	4%	11.0	40	2	1%	1.5	30	10	7%	7.3	46
五島	7	2%	18.8	46	2	1%	5.4	38	4	3%	10.7	55
上五島	2	1%	9.0	38	0	0%	0	27	2	1%	9.0	50
壱岐	3	1%	11.1	40	2	1%	7.4	43	2	1%	7.4	46
対馬	2	1%	6.4	36	2	1%	6.4	40	3	2%	9.5	52
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 42-14 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
長崎県	67	1.2%	4.9	52	101	1.0%	7.3	49	83	1.1%	6.0	50
長崎	40	60%	7.5	64	58	57%	10.9	60	45	54%	8.5	59
佐世保県北	9	13%	2.8	42	16	16%	4.9	41	21	25%	6.5	52
県央	14	21%	5.2	53	17	17%	6.3	45	15	18%	5.6	49
県南	3	4%	2.2	40	5	5%	3.7	37	0	0%	0	28
五島	1	1%	2.7	42	1	1%	2.7	34	1	1%	2.7	38
上五島	0	0%	0	30	1	1%	4.5	40	0	0%	0	28
壱岐	0	0%	0	30	1	1%	3.7	37	0	0%	0	28
対馬	0	0%	0	30	2	2%	6.4	46	1	1%	3.2	40
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 42-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
長崎県	138	1.4%	10.0	57	267	1.2%	19.4	53	227	1.3%	16.5	57
長崎	72	52%	13.6	66	139	52%	26.2	63	110	48%	20.7	66
佐世保県北	24	17%	7.4	49	53	20%	16.3	49	42	19%	13.0	49
県央	32	23%	11.9	62	52	19%	19.4	53	42	19%	15.7	55
県南	8	6%	5.9	45	10	4%	7.3	36	22	10%	16.2	56
五島	1	1%	2.7	37	4	1%	10.7	41	3	1%	8.0	39
上五島	0	0%	0	29	2	1%	9.0	38	1	0%	4.5	31
壱岐	0	0%	0	29	2	1%	7.4	36	4	2%	14.8	53
対馬	1	1%	3.2	38	5	2%	15.9	48	3	1%	9.5	42
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 42-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
長崎県	75	1.2%	5.4	53	72	1.0%	5.2	49	74	1.2%	5.4	52
長崎	36	48%	6.8	59	37	51%	7.0	56	38	51%	7.2	58
佐世保県北	15	20%	4.6	49	17	24%	5.2	49	16	22%	4.9	51
県央	15	20%	5.6	53	13	18%	4.8	47	11	15%	4.1	48
県南	7	9%	5.1	51	3	4%	2.2	37	5	7%	3.7	47
五島	1	1%	2.7	40	1	1%	2.7	39	2	3%	5.4	52
上五島	0	0%	0	28	0	0%	0	28	0	0%	0	35
壱岐	0	0%	0	28	0	0%	0	28	1	1%	3.7	47
対馬	1	1%	3.2	42	1	1%	3.2	41	1	1%	3.2	45
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

42.長崎県(2019年版)

資\_図表 42-17 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
長崎県	90	1.2%	6.5	52	17	1.0%	1.2	49	41	1.0%	3.0	48
長崎	50	56%	9.4	61	10	59%	1.9	56	16	39%	3.0	48
佐世保県北	16	18%	4.9	47	4	24%	1.2	49	11	27%	3.4	50
県央	18	20%	6.7	53	2	12%	0.7	44	11	27%	4.1	54
県南	5	6%	3.7	44	1	6%	0.7	44	1	2%	0.7	38
五島	0	0%	0	32	0	0%	0	37	0	0%	0	34
上五島	0	0%	0	32	0	0%	0	37	0	0%	0	34
壱岐	0	0%	0	32	0	0%	0	37	1	2%	3.7	52
対馬	1	1%	3.2	42	0	0%	0	37	1	2%	3.2	49
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 42-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリ テーション科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
長崎県	36	1.6%	2.6	57	28	1.0%	2.0	49
長崎	20	56%	3.8	66	17	61%	3.2	57
佐世保県北	8	22%	2.5	56	3	11%	0.9	41
県央	7	19%	2.6	57	5	18%	1.9	48
県南	1	3%	0.7	42	1	4%	0.7	40
五島	0	0%	0	36	1	4%	2.7	53
上五島	0	0%	0	36	0	0%	0	35
壱岐	0	0%	0	36	1	4%	3.7	60
対馬	0	0%	0	36	0	0%	0	35
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 42-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
長崎県	19,141	1.7%	1,390	67	14,936	1.6%	1,085	65	4,204	1.9%	305	68
長崎	7,949	42%	1,498	71	6,473	43%	1,220	70	1,477	35%	278	64
佐世保県北	4,337	23%	1,337	65	3,286	22%	1,013	62	1,051	25%	324	71
県央	4,170	22%	1,556	73	3,146	21%	1,173	69	1,025	24%	382	79
県南	1,602	8%	1,177	60	1,203	8%	884	57	398	9%	293	66
五島	373	2%	998	53	248	2%	664	48	125	3%	334	72
上五島	172	1%	771	45	119	1%	534	42	53	1%	237	58
舌岐	260	1%	960	52	228	2%	841	55	32	1%	119	42
対馬	278	1%	884	49	234	2%	745	51	44	1%	140	45
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 42-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
長崎県	2,562	1.8%	186	63	2,925	0.9%	212	47
長崎	1,213	47%	229	71	1,448	50%	273	53
佐世保県北	505	20%	156	58	583	20%	180	44
県央	464	18%	173	61	522	18%	195	45
県南	294	11%	216	69	207	7%	152	41
五島	17	1%	46	39	50	2%	134	39
上五島	12	0%	54	40	30	1%	135	39
舌岐	30	1%	111	50	42	1%	155	41
対馬	27	1%	85	46	43	1%	137	40
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 42-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
長崎県	291	2.0%	1.4	61	29	2.0%	0.1	56	127	1.1%	0.6	45
長崎	148	51%	1.9	73	12	41%	0.2	59	57	45%	0.7	51
佐世保県北	40	14%	0.8	48	5	17%	0.1	51	24	19%	0.5	39
県央	72	25%	2.0	76	4	14%	0.1	53	23	18%	0.6	47
県南	23	8%	0.9	50	5	17%	0.2	64	12	9%	0.5	39
五島	2	1%	0.2	36	1	3%	0.1	55	5	4%	0.6	46
上五島	0	0%	0	30	1	3%	0.2	65	2	2%	0.4	36
壱岐	5	2%	0.9	51	1	3%	0.2	63	2	2%	0.4	35
対馬	1	0%	0.2	34	0	0%	0	37	2	2%	0.3	34
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資\_図表 42-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
長崎県	21,971	1.3%	103	48	12,181	1.2%	57	46	9,790	1.4%	46	51
長崎	7,008	32%	90	41	4,116	34%	53	43	2,892	30%	37	46
佐世保県北	6,265	29%	123	60	3,056	25%	60	49	3,209	33%	63	62
県央	3,121	14%	88	40	1,686	14%	48	39	1,435	15%	40	48
県南	3,153	14%	121	60	1,562	13%	60	49	1,591	16%	61	61
五島	921	4%	115	56	546	4%	68	55	375	4%	47	52
上五島	523	2%	105	50	395	3%	79	64	128	1%	26	39
壱岐	418	2%	77	33	380	3%	70	57	38	0%	7	27
対馬	562	3%	97	45	440	4%	76	61	122	1%	21	36
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 42-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
長崎県	4,770	1.3%	22	50	7,006	1.2%	33	47	405	0.8%	1.9	47
長崎	1,708	36%	22	49	2,325	33%	30	44	83	20%	1.1	44
佐世保県北	1,085	23%	21	48	1,824	26%	36	50	147	36%	2.9	49
県央	680	14%	19	44	954	14%	27	41	52	13%	1.5	45
県南	617	13%	24	52	822	12%	32	46	123	30%	4.7	54
五島	200	4%	25	54	346	5%	43	57	0	0%	0	42
上五島	160	3%	32	66	235	3%	47	62	0	0%	0	42
壱岐	160	3%	29	61	220	3%	40	55	0	0%	0	42
対馬	160	3%	28	58	280	4%	48	62	0	0%	0	42
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 42-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
長崎県	1,156	0.5%	5.4	41	760	3.2%	3.5	60	4,795	2.3%	22.4	67
長崎	336	29%	4.3	40	100	13%	1.3	49	1,384	29%	17.9	59
佐世保県北	678	59%	13.3	49	430	57%	8.4	83	1,212	25%	23.7	70
県央	18	2%	0.5	37	50	7%	1.4	50	722	15%	20.3	64
県南	124	11%	4.8	41	130	17%	5.0	67	976	20%	37.6	94
五島	0	0%	0	36	0	0%	0	43	303	6%	37.7	94
上五島	0	0%	0	36	0	0%	0	43	108	2%	21.7	66
壱岐	0	0%	0	36	0	0%	0	43	18	0%	3.3	34
対馬	0	0%	0	36	50	7%	8.6	84	72	2%	12.4	50
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 42-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
					サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
長崎県	3,079	1.3%	14.4	49	268	1.0%	1.3	48	2,811	1.3%	13.1	50
長崎	1,072	35%	13.8	48	146	54%	1.9	52	926	33%	11.9	48
佐世保県北	889	29%	17.4	53	76	28%	1.5	50	813	29%	15.9	53
県央	645	21%	18.2	54	0	0%	0	42	645	23%	18.2	57
県南	361	12%	13.9	48	26	10%	1.0	47	335	12%	12.9	49
五島	72	2%	9.0	42	0	0%	0	42	72	3%	9.0	44
上五島	20	1%	4.0	35	20	7%	4.0	63	0	0%	0	31
壱岐	20	1%	3.7	35	0	0%	0	42	20	1%	3.7	36
対馬	0	0%	0	30	0	0%	0	42	0	0%	0	31
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 42-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
長崎県	2,148	1.2%	10.0	47	1,535	1.3%	7.2	49	613	1.1%	2.9	45
長崎	750	35%	9.7	45	467	30%	6.0	43	283	46%	3.7	52
佐世保県北	554	26%	10.8	51	446	29%	8.7	57	108	18%	2.1	39
県央	318	15%	8.9	42	203	13%	5.7	42	114	19%	3.2	48
県南	304	14%	11.7	55	250	16%	9.7	62	54	9%	2.1	39
五島	82	4%	10.2	47	57	4%	7.1	49	25	4%	3.1	47
上五島	47	2%	9.4	44	38	2%	7.6	51	9	1%	1.8	36
壱岐	48	2%	8.7	41	35	2%	6.4	45	13	2%	2.4	41
対馬	46	2%	7.9	37	40	3%	6.8	47	6	1%	1.1	30
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 42-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
長崎県	20,002	1.3%	93	51	17,686	1.4%	83	53	2,316	1.1%	10.8	45
長崎	7,207	36%	93	50	6,018	34%	78	48	1,189	51%	15.3	54
佐世保県北	4,813	24%	94	51	4,455	25%	87	57	358	15%	7.0	38
県央	3,032	15%	85	44	2,656	15%	75	46	376	16%	10.6	45
県南	2,519	13%	97	54	2,375	13%	92	62	144	6%	5.5	35
五島	842	4%	105	61	738	4%	92	62	103	4%	12.9	49
上五島	589	3%	118	73	554	3%	111	80	35	2%	7.1	38
壱岐	481	2%	88	46	402	2%	74	45	79	3%	14.6	52
対馬	518	3%	89	47	487	3%	84	54	31	1%	5.3	35
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 42-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
長崎県	13,251	1.1%	62	46	4,530	0.8%	21	41	12,163	1.1%	57	45
長崎	6,835	52%	88	54	2,428	54%	31	48	6,580	54%	85	57
佐世保県北	3,322	25%	65	47	718	16%	14	36	1,469	12%	29	33
県央	1,746	13%	49	43	687	15%	19	40	1,668	14%	47	41
県南	939	7%	36	39	332	7%	13	35	1,251	10%	48	41
五島	247	2%	31	37	116	3%	14	36	391	3%	49	42
上五島	18	0%	4	30	54	1%	11	34	232	2%	47	41
壱岐	114	1%	21	35	143	3%	26	45	343	3%	63	48
対馬	30	0%	5	30	52	1%	9	32	229	2%	39	38
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

42.長崎県(2019年版)

資\_図表 42-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
長崎県		1,478,632	1,377,187	-7%	1,257,939	-15%	4%	1%	5%
長崎	地方都市型	560,668	530,551	-5%	488,301	-13%	6%	3%	9%
佐世保県北	地方都市型	348,653	324,294	-7%	298,565	-14%	3%	-1%	2%
県央	地方都市型	272,256	268,091	-2%	258,378	-5%	10%	7%	17%
県南	地方都市型	154,088	136,086	-12%	117,762	-24%	-2%	-4%	-6%
五島	過疎地域型	44,765	37,327	-17%	30,483	-32%	-6%	-8%	-14%
上五島	過疎地域型	28,307	22,278	-21%	16,930	-40%	-9%	-13%	-21%
壱岐	過疎地域型	31,414	27,103	-14%	22,644	-28%	-4%	-9%	-13%
対馬	過疎地域型	38,481	31,457	-18%	24,876	-35%	-5%	-10%	-15%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資\_図表 42-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
長崎県	169	11.4	61	149	10.8	61	-20	-12%
長崎	62	11.1	60	53	10.0	59	-9	-15%
佐世保県北	41	11.8	62	35	10.8	61	-6	-15%
県央	31	11.4	61	32	11.9	64	1	3%
県南	17	11.0	60	17	12.5	65	0	0%
五島	5	11.2	61	4	10.7	60	-1	-20%
上五島	3	10.6	59	1	4.5	45	-2	-67%
壱岐	7	22.3	89	5	18.4	80	-2	-29%
対馬	3	7.8	52	2	6.4	49	-1	-33%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 42-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
長崎県	1,450	98	61	1,383	100	61	-67	-5%
長崎	676	121	72	640	121	71	-36	-5%
佐世保県北	303	87	55	271	84	52	-32	-11%
県央	251	92	58	251	94	57	0	0%
県南	105	68	46	108	79	49	3	3%
五島	45	101	62	41	110	66	-4	-9%
上五島	22	78	51	22	99	60	0	0%
壱岐	15	48	36	17	63	41	2	13%
対馬	33	86	55	33	105	63	0	0%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 42-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
長崎県	3,924	265	56	4,108	298	56	184	5%
長崎	1,964	350	67	2,076	391	66	112	6%
佐世保県北	777	223	51	756	233	49	-21	-3%
県央	717	263	56	831	310	57	114	16%
県南	249	162	44	244	179	43	-5	-2%
五島	80	179	46	75	201	45	-5	-6%
上五島	37	131	40	31	139	38	-6	-16%
壱岐	43	137	41	41	151	40	-2	-5%
対馬	57	148	42	54	172	42	-3	-5%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 42-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
長崎県	34,382	233	66	29,576	215	66	-4,806	-14%
長崎	14,176	253	70	12,224	230	69	-1,952	-14%
佐世保県北	7,567	217	63	6,582	203	64	-985	-13%
県央	7,275	267	72	6,400	239	71	-875	-12%
県南	3,030	197	60	2,719	200	63	-311	-10%
五島	840	188	58	603	162	56	-237	-28%
上五島	351	124	47	203	91	43	-148	-42%
壱岐	647	206	61	504	186	61	-143	-22%
対馬	496	129	48	341	108	46	-155	-31%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 42-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
長崎県	17,860	121	63	14,999	109	62	-2,861	-16%
長崎	7,101	127	65	5,831	110	63	-1,270	-18%
佐世保県北	3,904	112	60	3,403	105	61	-501	-13%
県央	3,798	140	70	3,341	125	68	-457	-12%
県南	1,415	92	53	1,272	93	56	-143	-10%
五島	659	147	73	475	127	69	-184	-28%
上五島	291	103	57	143	64	45	-148	-51%
壱岐	290	92	53	246	91	55	-44	-15%
対馬	402	104	57	288	92	56	-114	-28%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 42-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

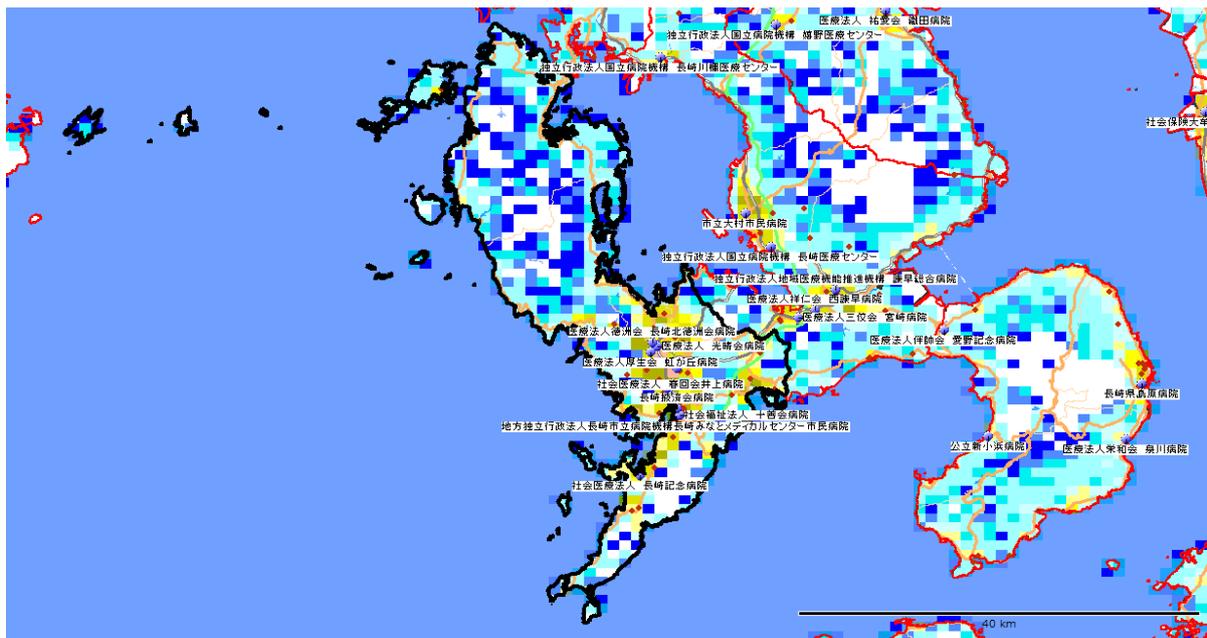
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
長崎県	8,000	47	58	6,566	31	60	-1,434	-18%
長崎	3,001	50	60	2,574	33	62	-427	-14%
佐世保県北	2,095	50	60	1,694	33	62	-401	-19%
県央	1,460	55	63	1,179	33	62	-281	-19%
県南	991	45	57	839	32	61	-152	-15%
五島	107	15	40	54	7	38	-53	-50%
上五島	56	13	39	56	11	42	0	0%
壱岐	253	52	61	170	31	60	-83	-33%
対馬	37	8	36	0	0	32	-37	-100%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

# ながさき 42-1. 長崎医療圏

構成市区町村 [長崎市](#) [西海市](#) [長与町](#) [時津町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPG病院



## (長崎医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 長崎(長崎市)は、総人口約531千人(2015年)、面積697km<sup>2</sup>、人口密度は761人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 長崎の総人口は2025年に488千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に412千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の78千人が、2025年にかけて96千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には103千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 長崎の一人当たり医療費(国保)は451千円(偏差値72)、介護給付費は283千円(偏差値58)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 長崎の一人当たり急性期医療密度指数は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数は2.15で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が66(病院医師数63、診療所医師数71)と、総医師数、診療所医師数ともに非常に多く、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は59と多い。長崎には、年間全身麻酔件数が2000例以上の長崎大学病院(I群・救命)、1000例以上の長崎みなとメディカルセンター(III群)、長崎原爆病院(III群)、500例以上の済生会長崎病院(III群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値71と非常に多く、回復期病床数は偏差値62と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は72で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は71で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 長崎の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7,008人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,116床(偏差値43)、高齢者住宅等が2,892床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,018人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム40、軽費ホーム49、グループホーム59、サ高住48である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値73と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,189人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-29%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (長崎医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

長崎医療圏の総人口は、2005年560,668人が、2015年に530,551人と5%減少し、2025年の人口が488,301人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

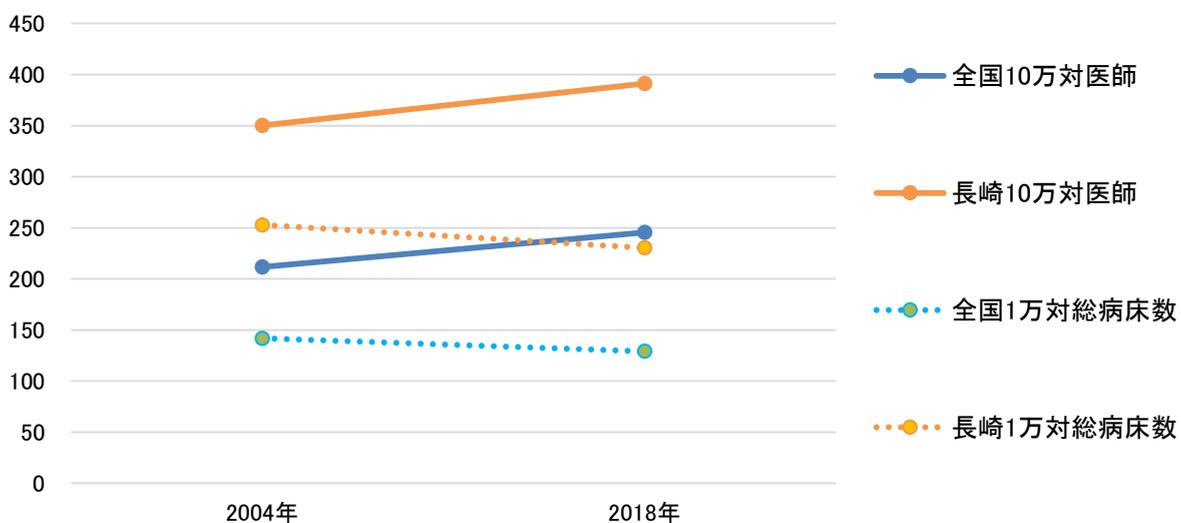
2004年の病院数が62(人口10万人当たり11.1病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2018年に53(人口10万人当たり10病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、14年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が676(人口10万人当たり121診療所(全国平均76)偏差値72)であったが、2018年に640(人口10万人当たり121診療所(全国平均80)偏差値71)と、36診療所が減少した。

2004年の総病床数が14,176床(人口1万人当たり253(全国平均142)偏差値70)であったが、2018年に12,224床(人口1万人当たり230(全国平均129)偏差値69)と、1,952床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

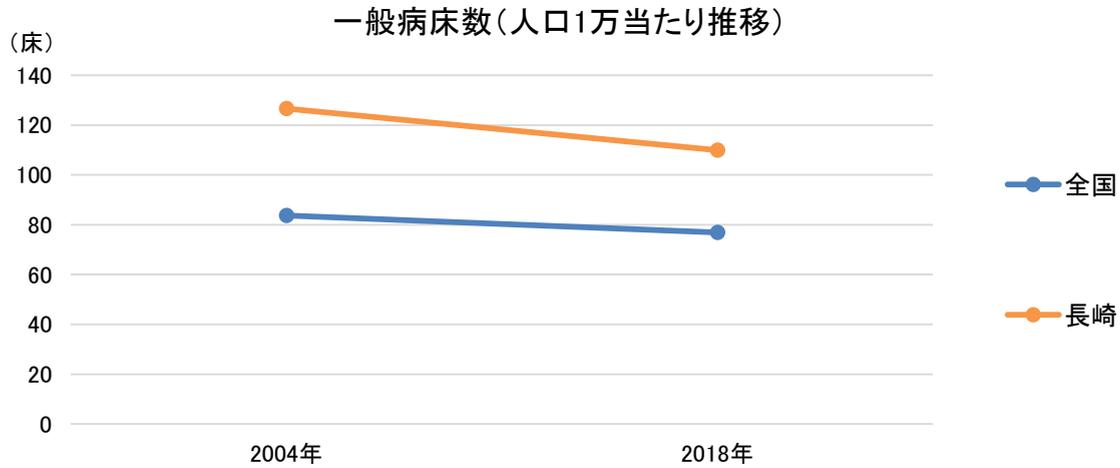
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,964人(人口10万人当たり350人(全国平均212人)偏差値67)であったが、2018年に2,076人(人口10万人当たり391人(全国平均245人)偏差値66)と、112人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



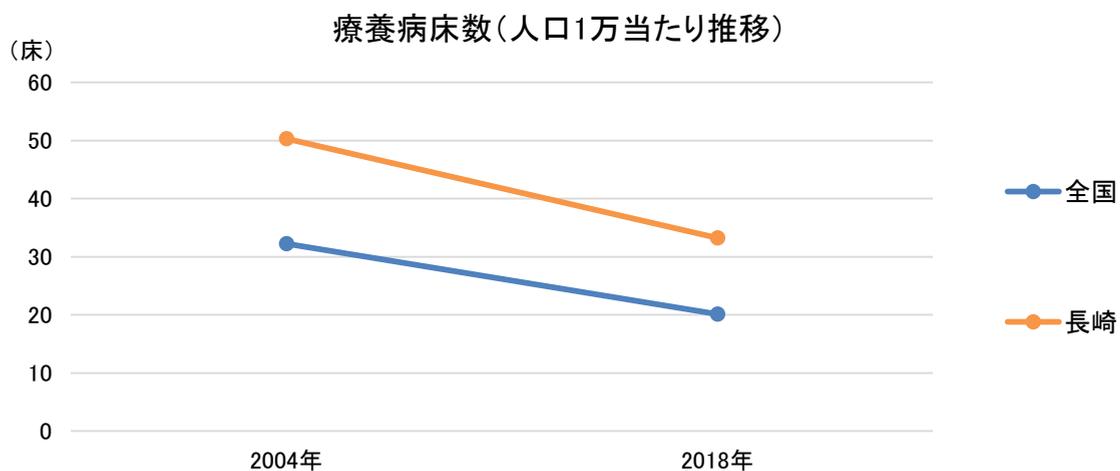
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,101床(人口1万人当たり127(全国平均84)偏差値65)であったが、2018年に5,831床(人口1万人当たり110(全国平均77)偏差値63)と、1,270床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



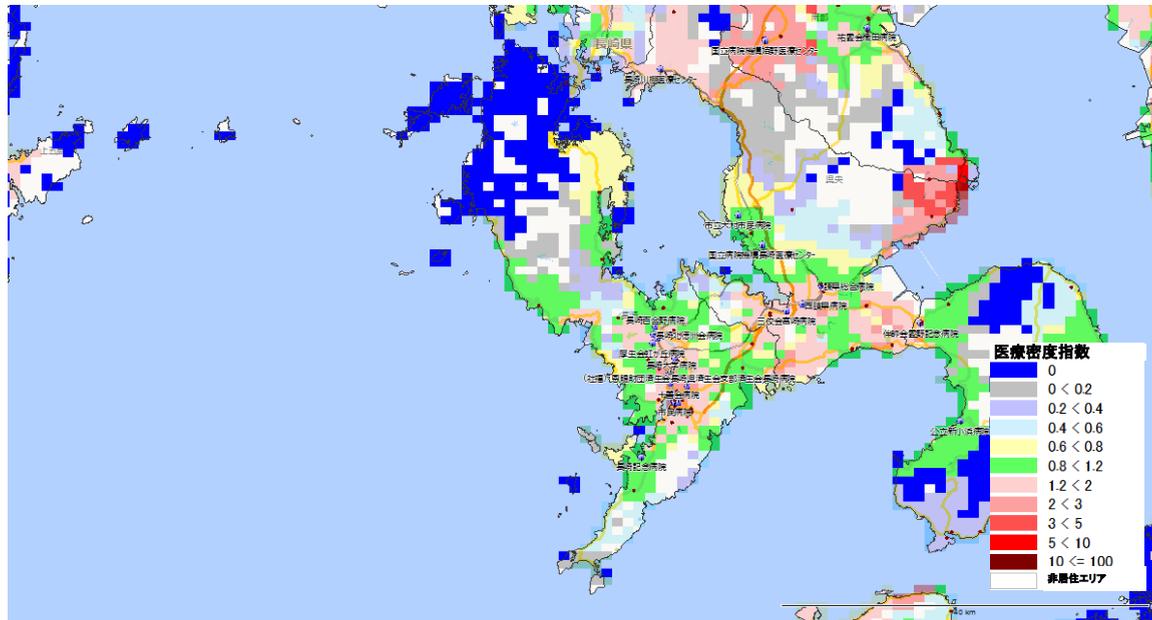
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,001床(75歳以上1,000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2018年に2,574床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均20)偏差値62)と、427床の減少、率にして14%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



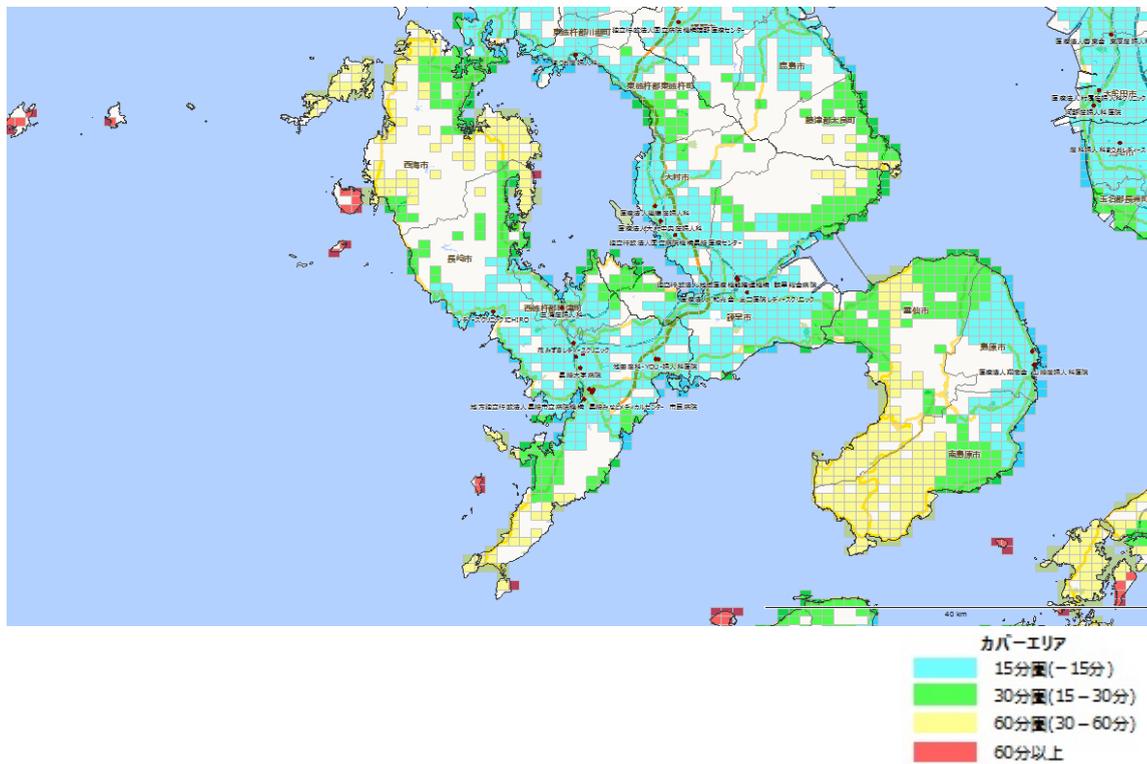
(長崎医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

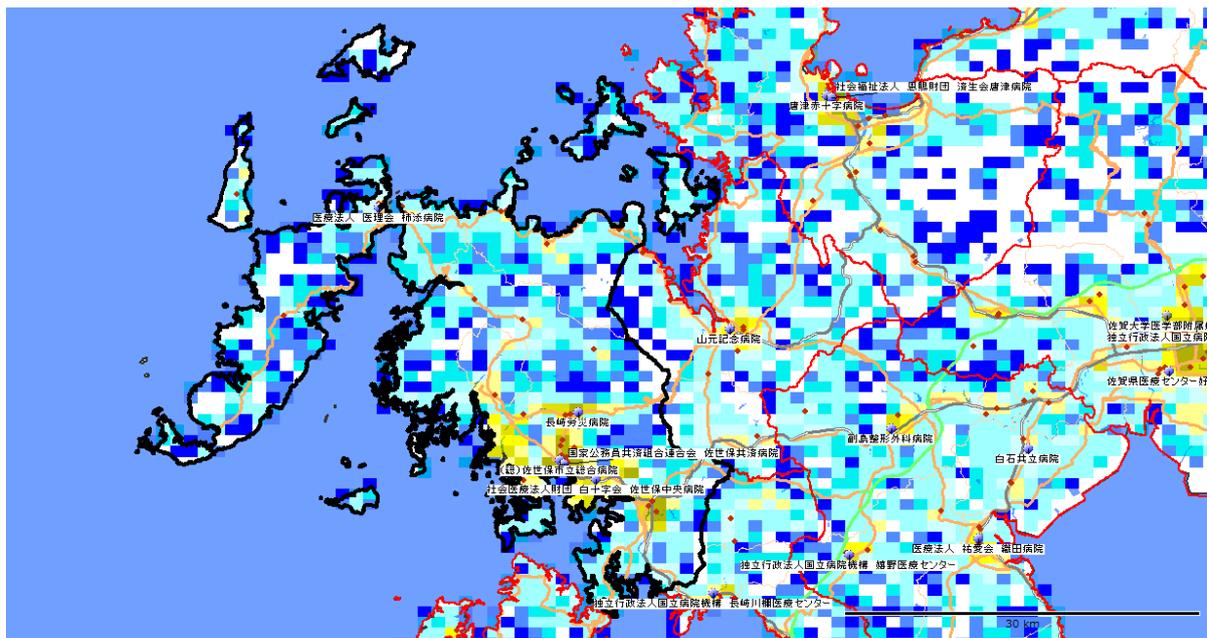


# 42-2. さ せ ぼ けん ほう 佐世保県北医療圏

構成市区町村 [佐世保市](#) [平戸市](#) [松浦市](#) [佐々町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



## (佐世保県北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 佐世保県北(佐世保市)は、総人口約324千人(2015年)、面積824km<sup>2</sup>、人口密度は394人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 佐世保県北の総人口は2025年に299千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に256千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の51千人が、2025年にかけて59千人へと増加し(2015年比+16%)、2040年には57千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 佐世保県北の一人当たり医療費(国保)は403千円(偏差値61)、介護給付費は279千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 佐世保県北の一人当たり急性期医療密度指数は1.14、一人当たり慢性期医療密度指数は1.6で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が49(病院医師数49、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は65と多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。佐世保県北には、年間全身麻酔件数が2000例以上の佐世保市総合医療センター(Ⅲ群・救命)、1000例以上の佐世保共済病院(Ⅲ群)、長崎労災病院(Ⅲ群)、500例以上の佐世保中央病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 佐世保県北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,265人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,056床(偏差値49)、高齢者住宅等が3,209床(偏差値62)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,455人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム49、軽費ホーム83、グループホーム70、サ高住53である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、358人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

- \*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (佐世保県北医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

佐世保県北医療圏の総人口は、2005年348,653人が、2015年に324,294人と7%減少し、2025年の人口が298,565人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

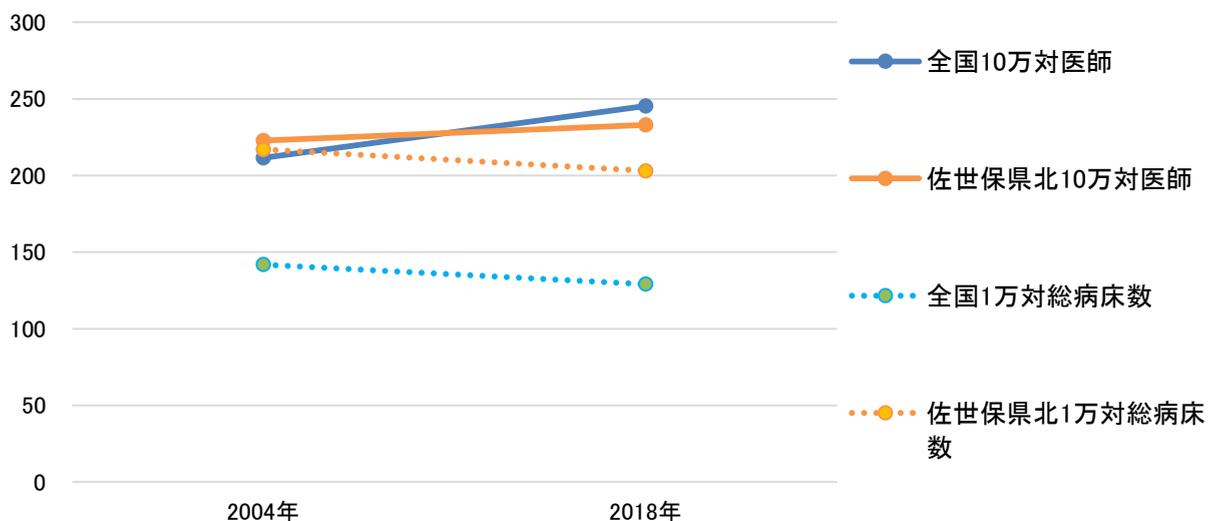
2004年の病院数が41(人口10万人当たり11.8病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2018年に35(人口10万人当たり10.8病院(全国平均6.6)偏差値61)となり、14年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が303(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2018年に271(人口10万人当たり84診療所(全国平均80)偏差値52)と、32診療所が減少した。

2004年の総病床数が7,567床(人口1万人当たり217(全国平均142)偏差値63)であったが、2018年に6,582床(人口1万人当たり203(全国平均129)偏差値64)と、985床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

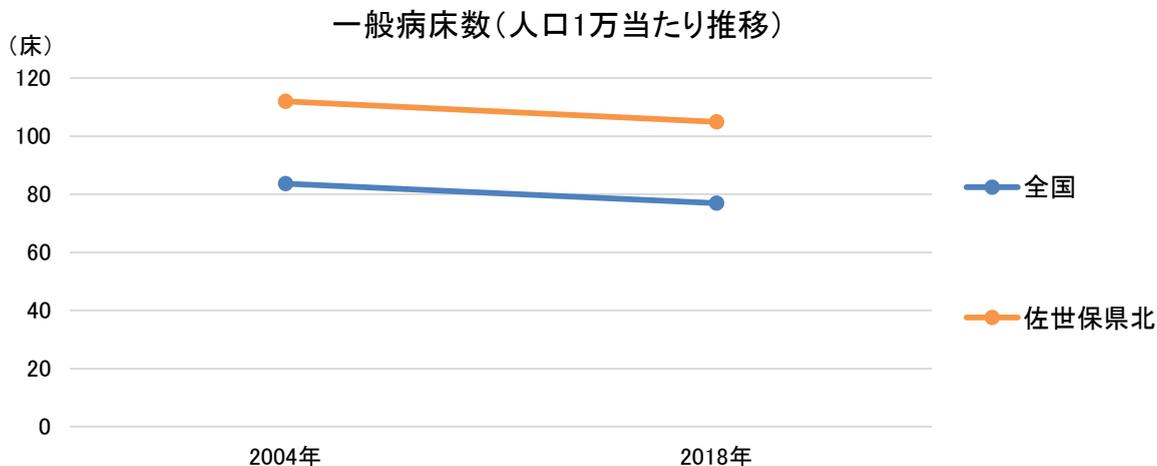
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が777人(人口10万人当たり223人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2018年に756人(人口10万人当たり233人(全国平均245人)偏差値49)と、21人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



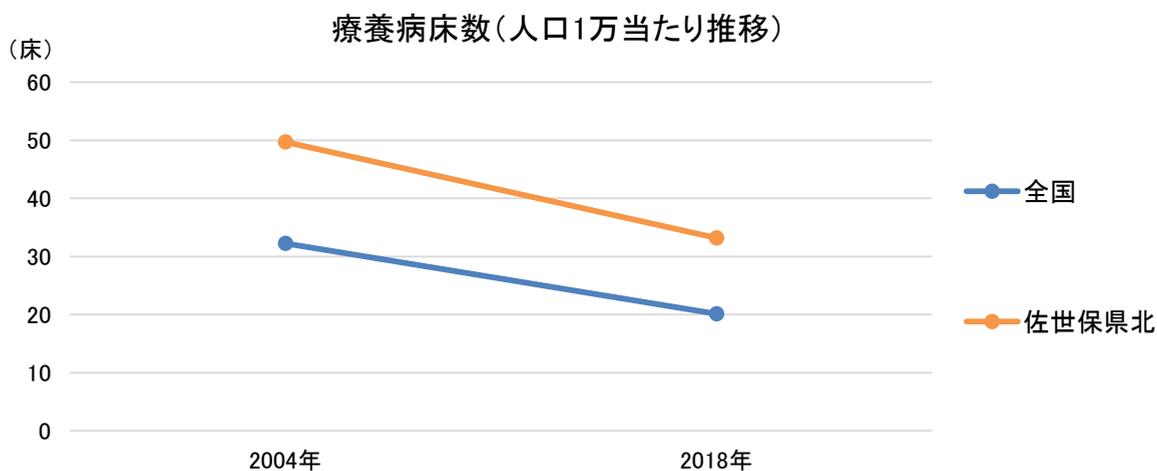
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,904床(人口1万人当たり112(全国平均84)偏差値60)であったが、2018年に3,403床(人口1万人当たり105(全国平均77)偏差値61)と、501床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



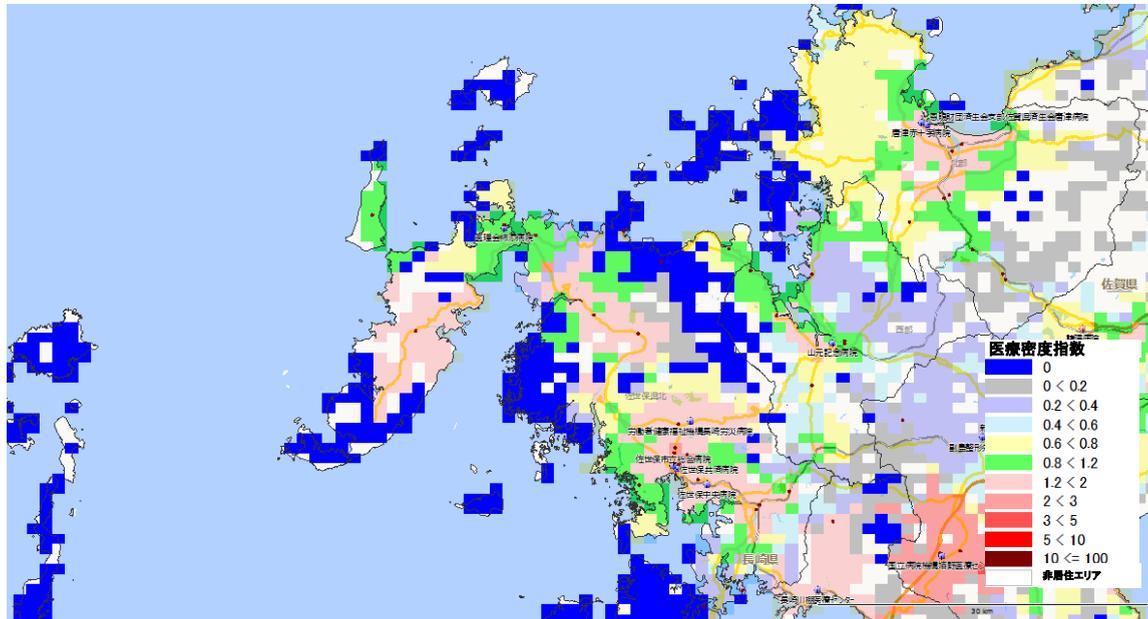
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,095床(75歳以上1,000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2018年に1,694床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均20)偏差値62)と、401床の減少、率にして19%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



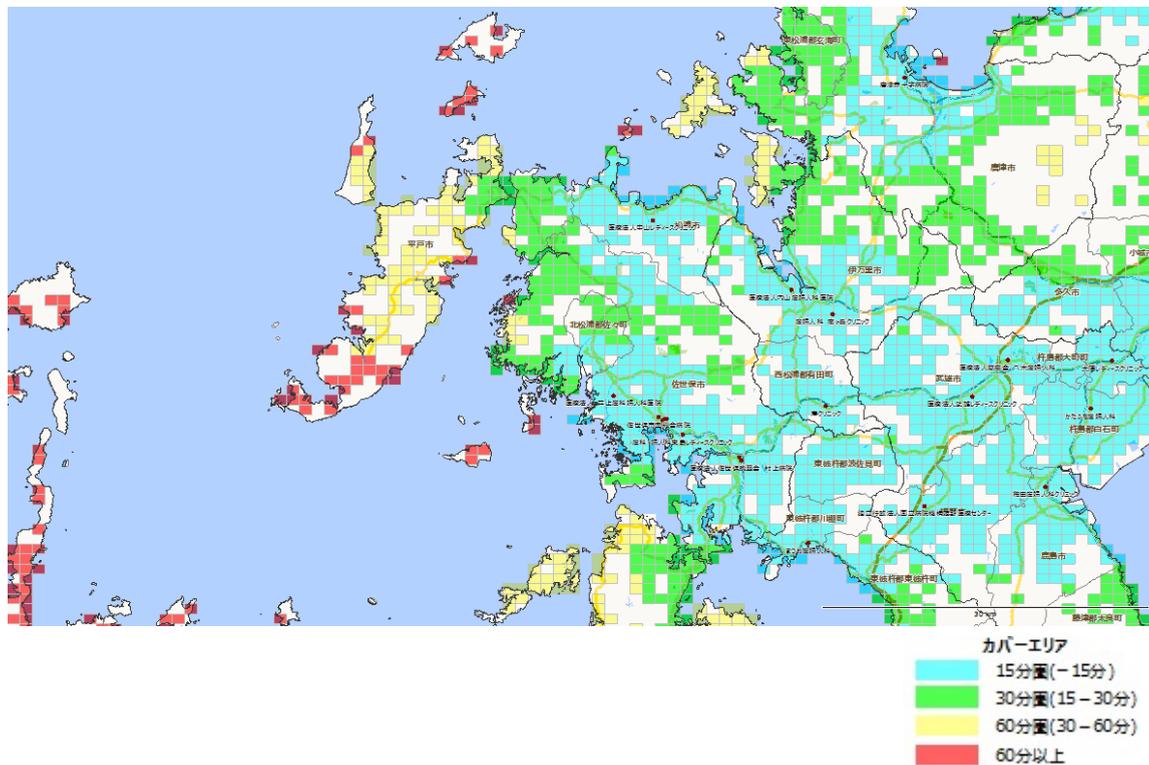
## (佐世保県北医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

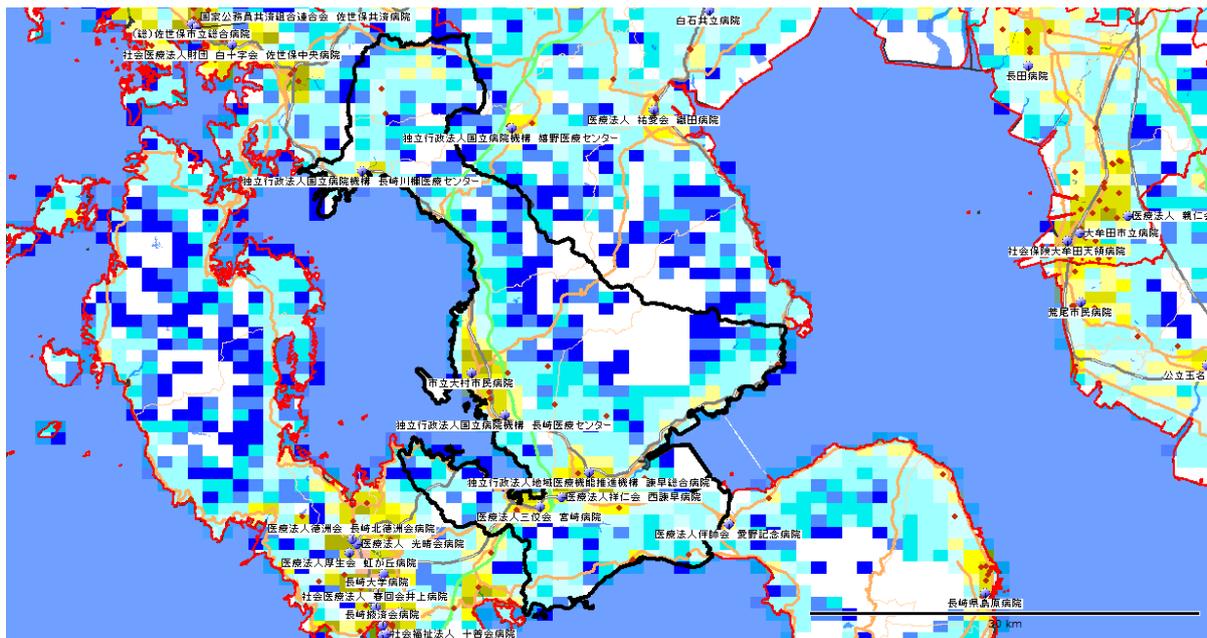


# 42-3. けんおう 県央医療圏

構成市区町村 [諫早市](#) [大村市](#) [東彼杵町](#) [川棚町](#)  
[波佐見町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県央(諫早市)は、総人口約268千人(2015年)、面積636km<sup>2</sup>、人口密度は421人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県央の総人口は2025年に258千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に232千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の35千人が、2025年にかけて45千人へと増加し(2015年比+29%)、2040年には52千人へと増加する(2025年比+16%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は432千円(偏差値67)、介護給付費は244千円(偏差値47)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数は1.07、一人当たり慢性期医療密度指数は2.2で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が57(病院医師数56、診療所医師数58)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は73と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。県央には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNHO長崎医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上のJCHO諫早総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は70で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,121人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,686床(偏差値39)、高齢者住宅等が1,435床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,656人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム41、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム37、軽費ホーム50、グループホーム64、サ高住54である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値76と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、376人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-50%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (県央医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

県央医療圏の総人口は、2005年272,256人が、2015年に268,091人と2%減少し、2025年の人口が258,378人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

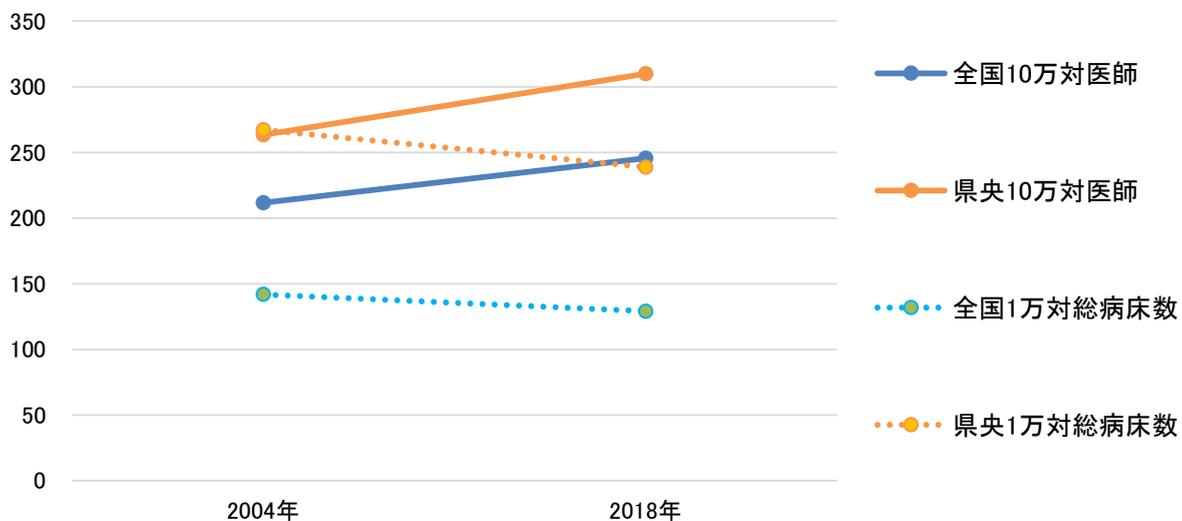
2004年の病院数が31(人口10万人当たり11.4病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2018年に32(人口10万人当たり11.9病院(全国平均6.6)偏差値64)となり、14年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が251(人口10万人当たり92診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2018年に251(人口10万人当たり94診療所(全国平均80)偏差値57)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が7,275床(人口1万人当たり267(全国平均142)偏差値72)であったが、2018年に6,400床(人口1万人当たり239(全国平均129)偏差値71)と、875床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

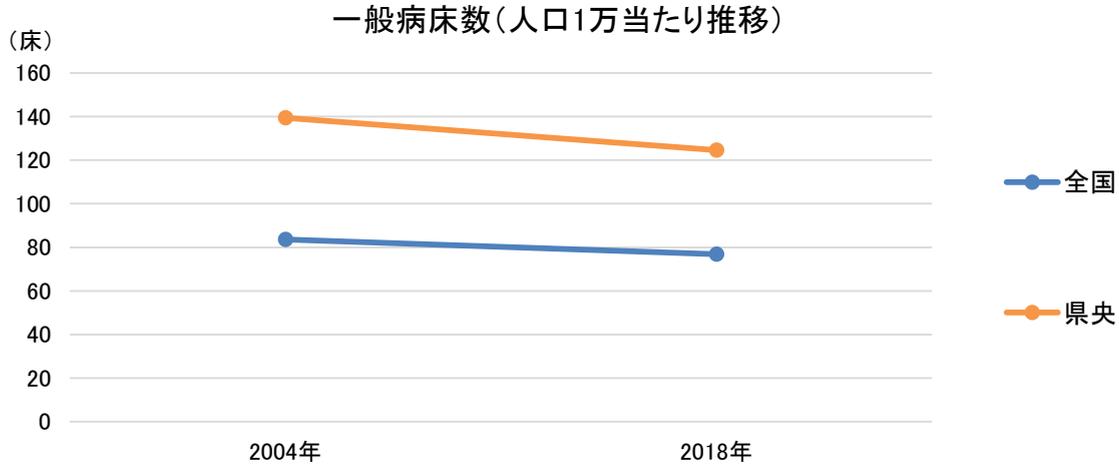
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が717人(人口10万人当たり263人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2018年に831人(人口10万人当たり310人(全国平均245人)偏差値57)と、114人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



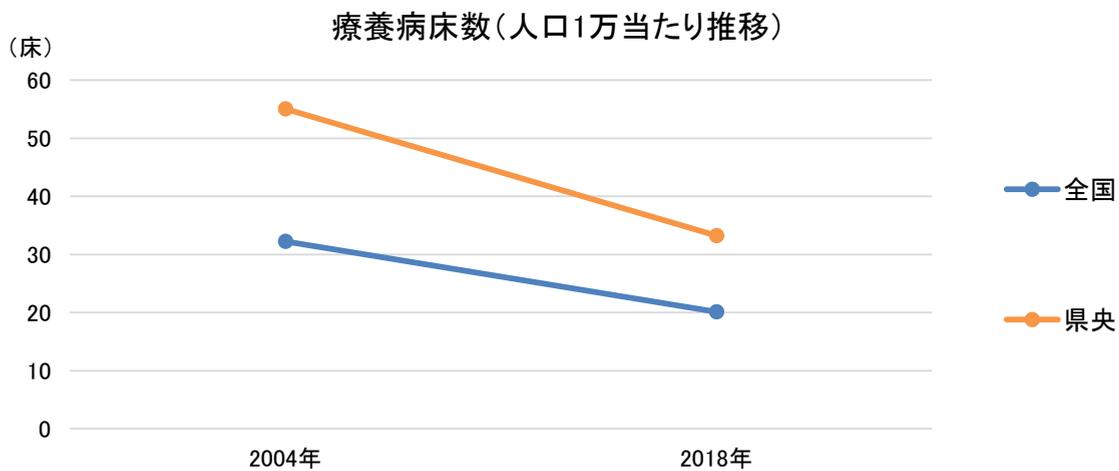
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,798床(人口1万人当たり140(全国平均84)偏差値70)であったが、2018年に3,341床(人口1万人当たり125(全国平均77)偏差値68)と、457床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



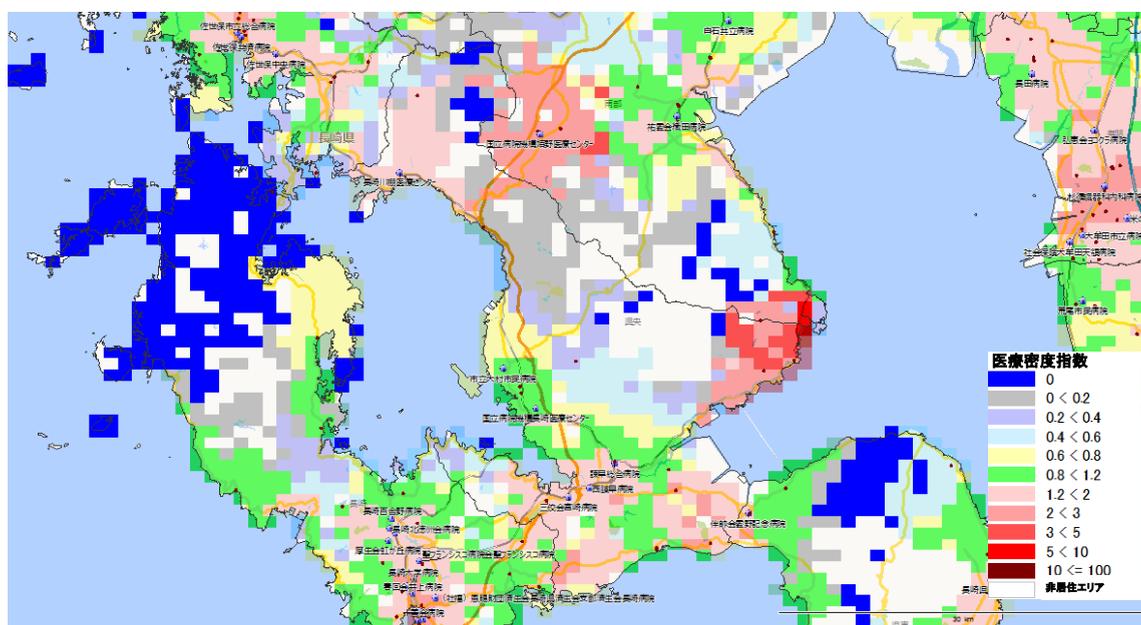
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,460床(75歳以上1,000人当たり55(全国平均32)偏差値63)であったが、2018年に1,179床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均20)偏差値62)と、281床の減少、率にして19%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



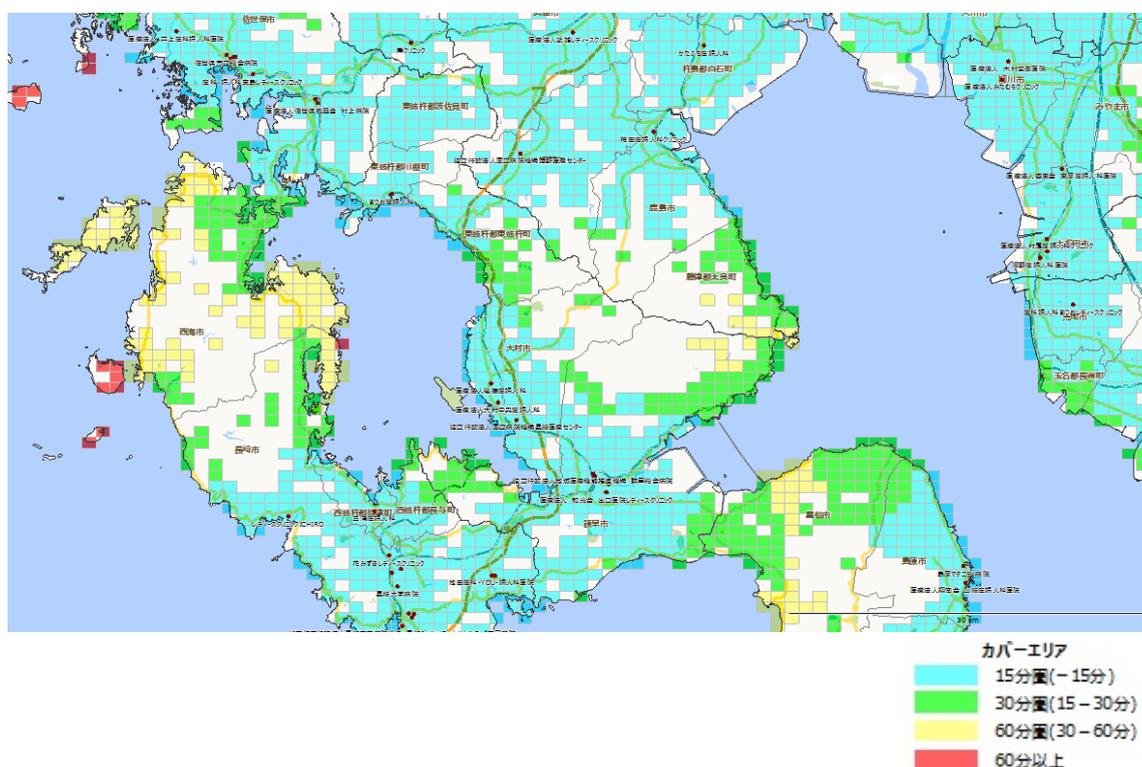
(県央医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

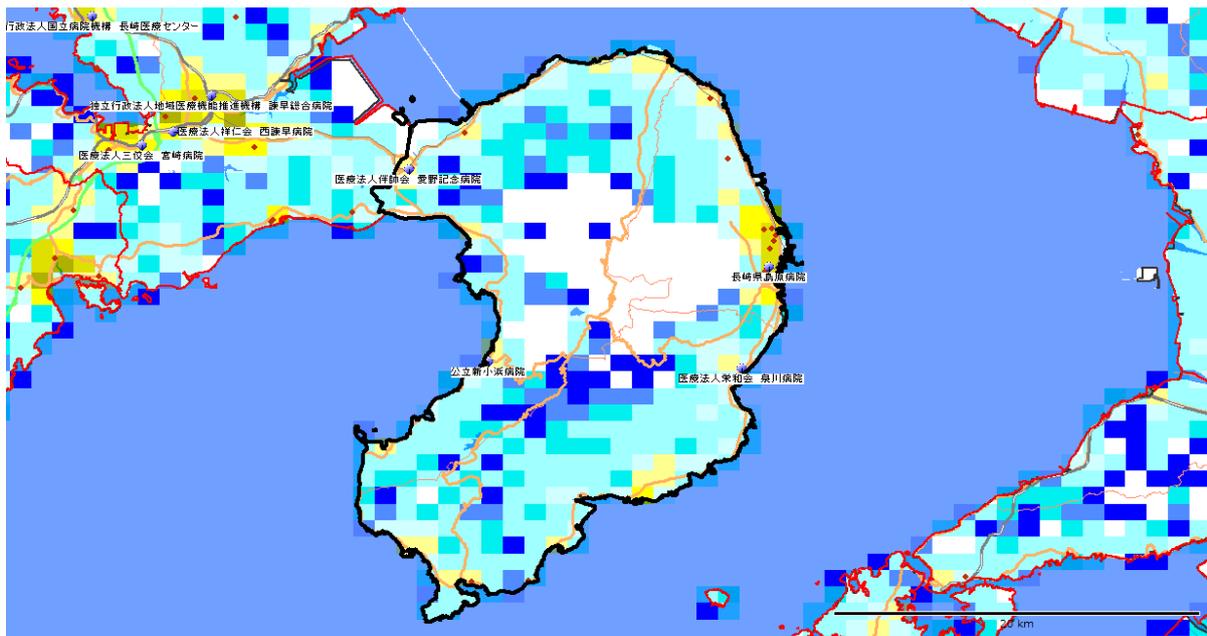


# 42-4. けんなん 県南医療圏

構成市区町村 [島原市](#) [雲仙市](#) [南島原市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

### 区画内人口(1平方キロ)



### DPC病院



## (県南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県南(島原市)は、総人口約136千人(2015年)、面積467km<sup>2</sup>、人口密度は291人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県南の総人口は2025年に118千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に90千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて27千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年には28千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県南の一人当たり医療費(国保)は387千円(偏差値57)、介護給付費は318千円(偏差値69)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県南の一人当たり急性期医療密度指数は0.55、一人当たり慢性期医療密度指数は0.66で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数42、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は60と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。県南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は65と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値69と非常に多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,153人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,562床(偏差値49)、高齢者住宅等が1,591床(偏差値61)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,375人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム41、軽費ホーム67、グループホーム94、サ高住48である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値64と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、144人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+20%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (県南医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

県南医療圏の総人口は、2005年154,088人が、2015年に136,086人と12%減少し、2025年の人口が117,762人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

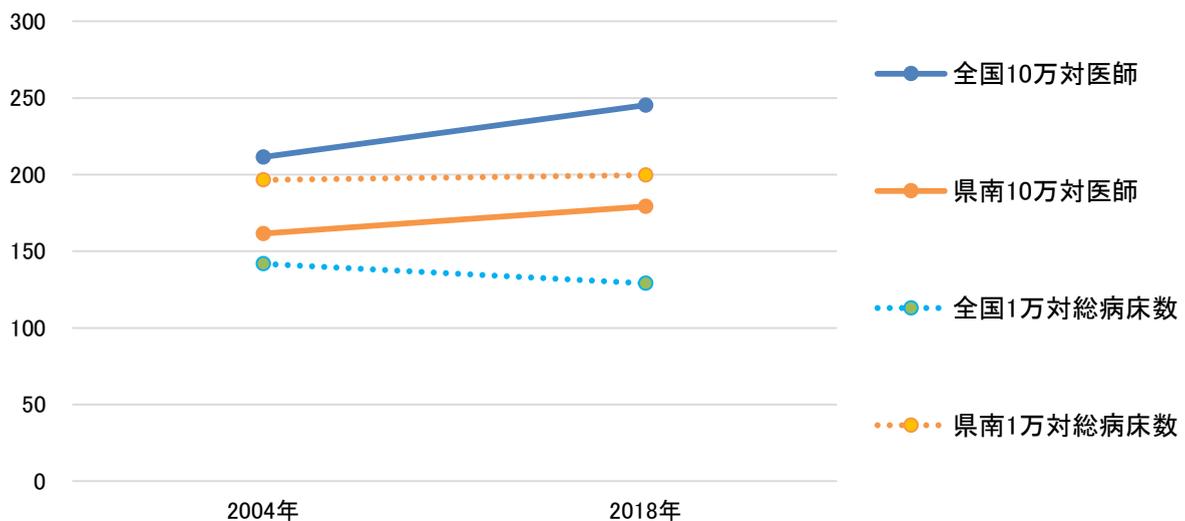
2004年の病院数が17(人口10万人当たり11病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2018年に17(人口10万人当たり12.5病院(全国平均6.6)偏差値65)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が105(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2018年に108(人口10万人当たり79診療所(全国平均80)偏差値49)と、3診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,030床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2018年に2,719床(人口1万人当たり200(全国平均129)偏差値63)と、311床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

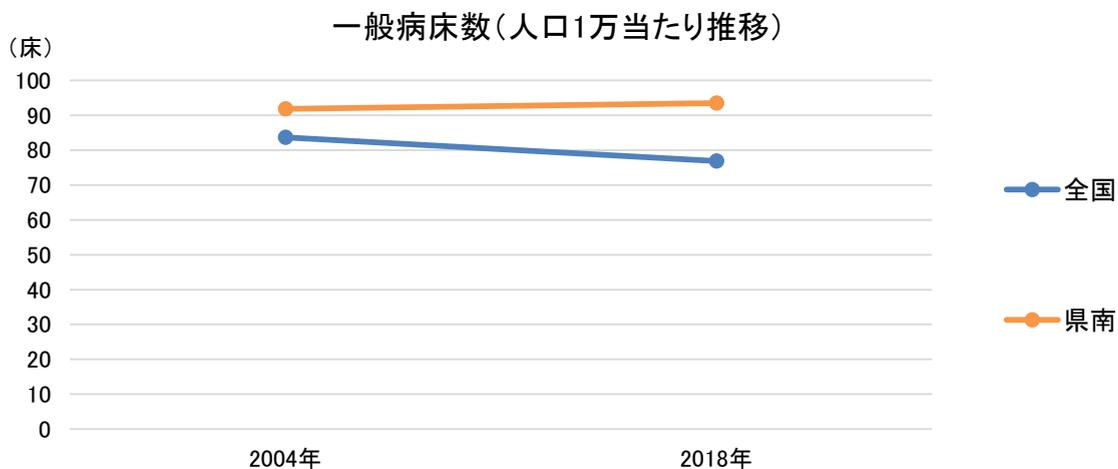
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が249人(人口10万人当たり162人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2018年に244人(人口10万人当たり179人(全国平均245人)偏差値43)と、5人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



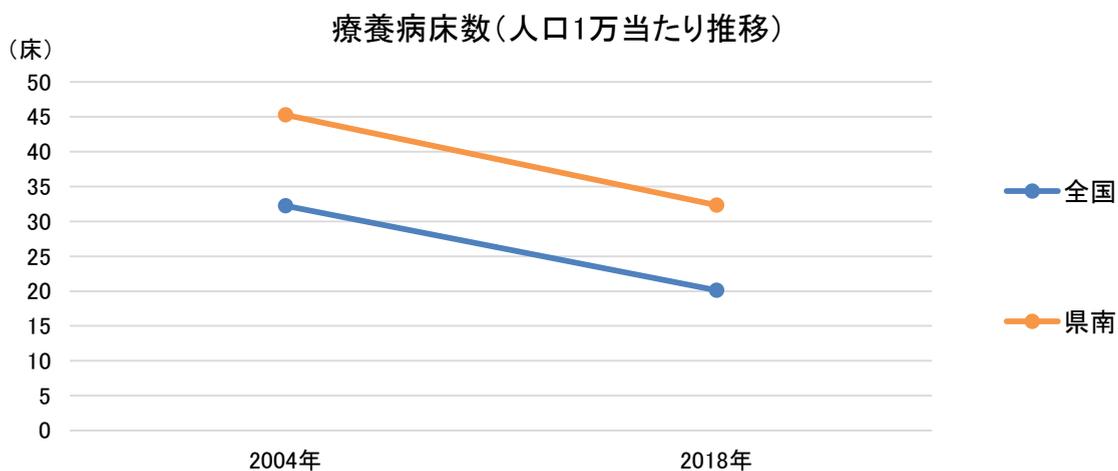
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,415床(人口1万人当たり92(全国平均84)偏差値53)であったが、2018年に1,272床(人口1万人当たり93(全国平均77)偏差値56)と、143床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



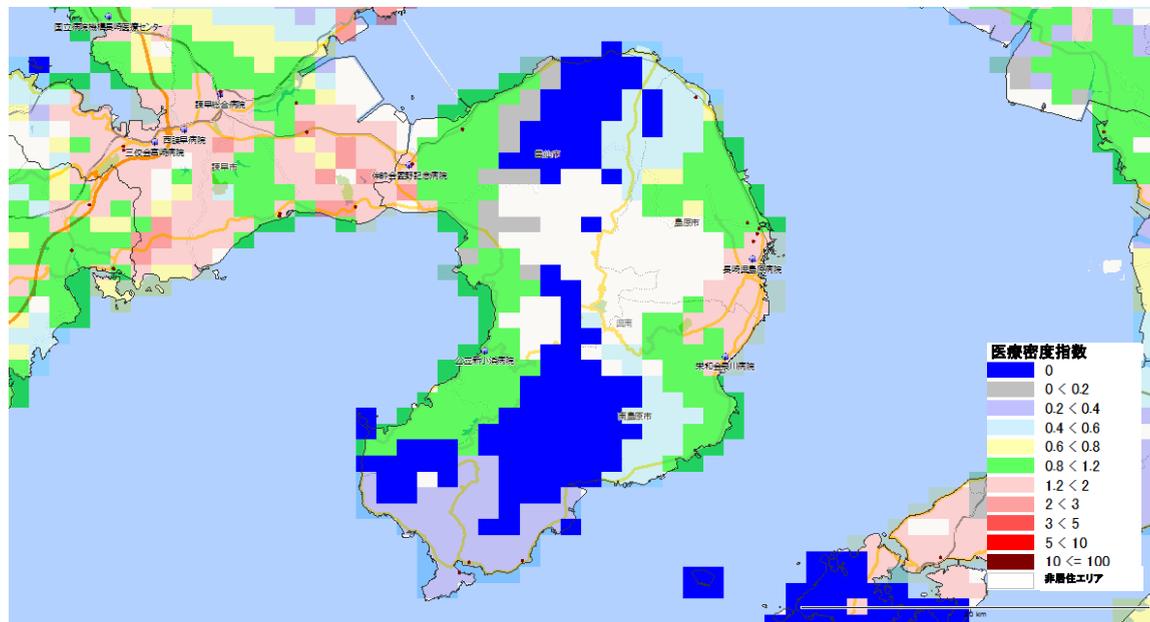
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が991床(75歳以上1,000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2018年に839床(75歳以上1,000人当たり32(全国平均20)偏差値61)と、152床の減少、率にして15%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



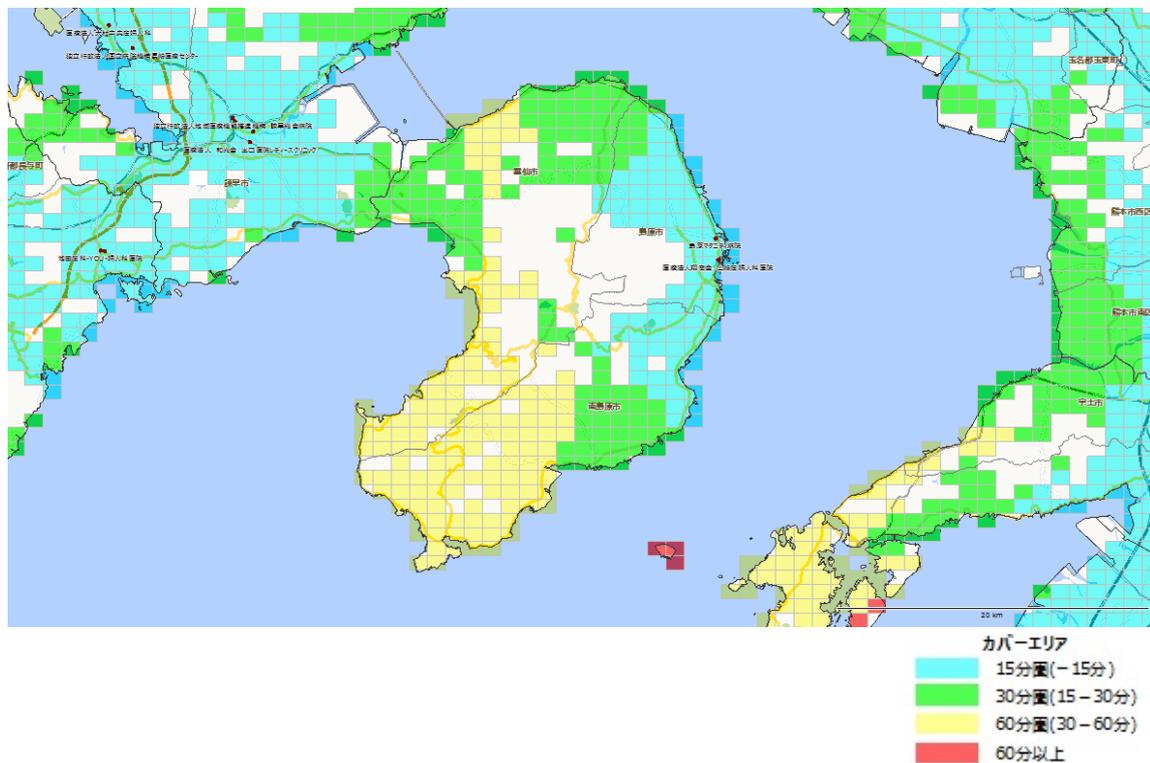
## (県南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

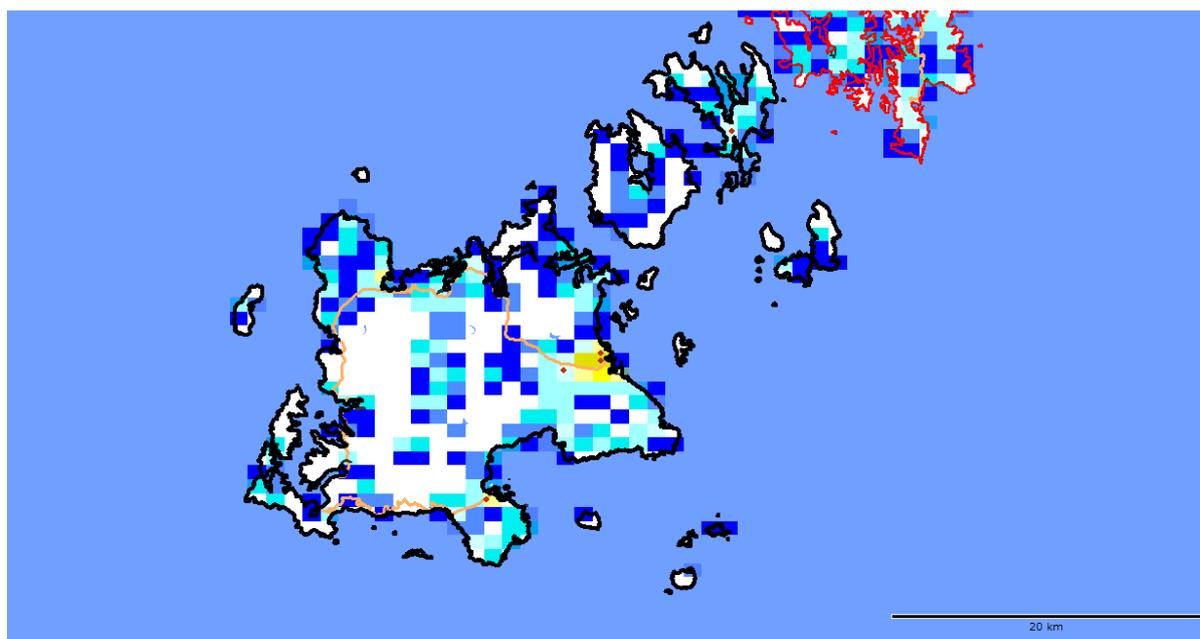


# 42-5. ごとう五島医療圏

構成市区町村 [五島市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (五島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 五島(五島市)は、総人口約37千人(2015年)、面積420km<sup>2</sup>、人口密度は89人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 五島の総人口は2025年に30千人へと減少し(2015年比-19%)、2040年に21千人へと減少する(2025年比-30%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の8千人が、2025年にかけて8千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には8千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 五島の一人当たり医療費(国保)は363千円(偏差値52)、介護給付費は337千円(偏差値74)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 五島の一人当たり急性期医療密度指数は1.04、一人当たり慢性期医療密度指数は1.06で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数45、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数は0件である。五島には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は66で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 五島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、921人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が546床(偏差値55)、高齢者住宅等が375床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、738人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム94、サ高住42である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、103人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (五島医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

五島医療圏の総人口は、2005年44,765人が、2015年に37,327人と17%減少し、2025年の人口が30,483人と予測され、2005年→2025年の間に32%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

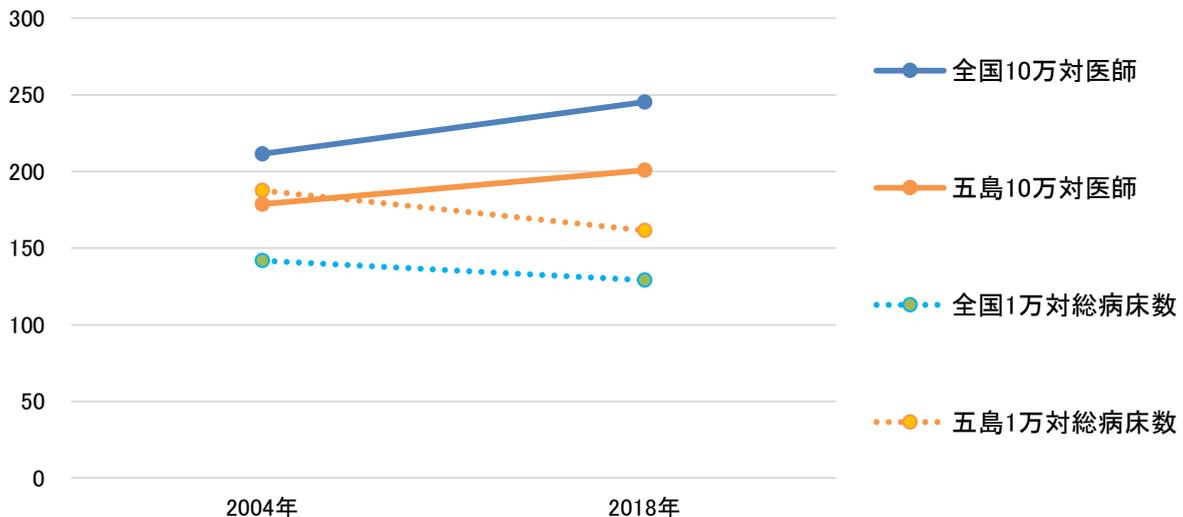
2004年の病院数が5(人口10万人当たり11.2病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2018年に4(人口10万人当たり10.7病院(全国平均6.6)偏差値60)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が45(人口10万人当たり101診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2018年に41(人口10万人当たり110診療所(全国平均80)偏差値66)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が840床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2018年に603床(人口1万人当たり162(全国平均129)偏差値56)と、237床の減少、率にして28%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

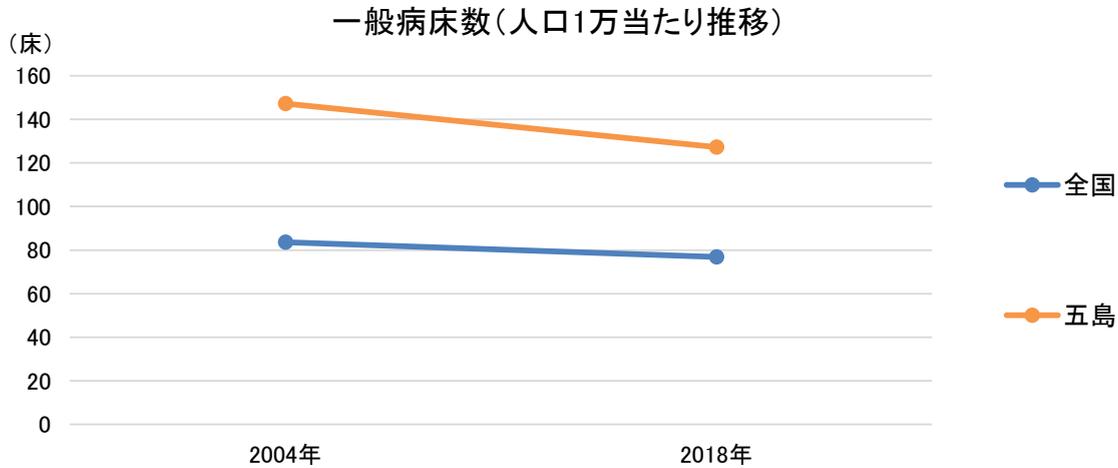
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が80人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2018年に75人(人口10万人当たり201人(全国平均245人)偏差値45)と、5人の減少、率にして6%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



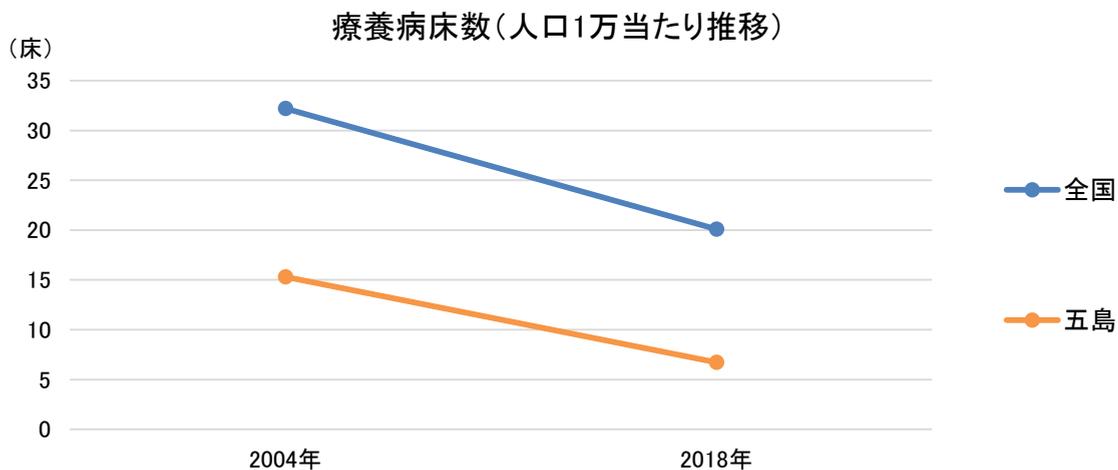
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が659床(人口1万人当たり147(全国平均84)偏差値73)であったが、2018年に475床(人口1万人当たり127(全国平均77)偏差値69)と、184床の減少、率にして28%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



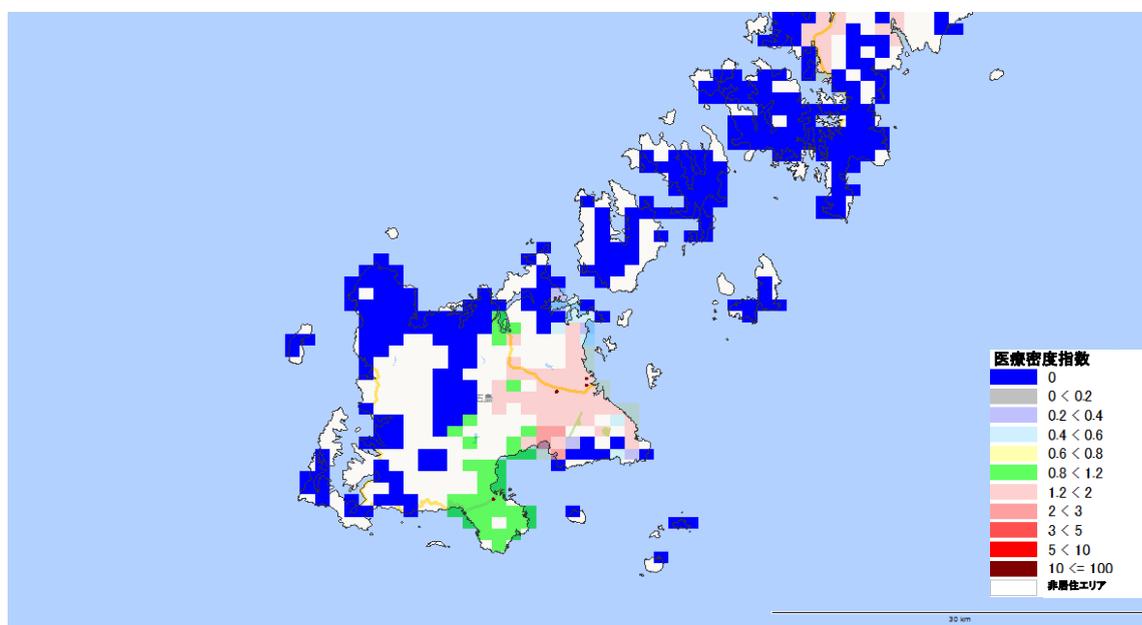
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が107床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2018年に54床(75歳以上1,000人当たり7(全国平均20)偏差値38)と、53床の減少、率にして50%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



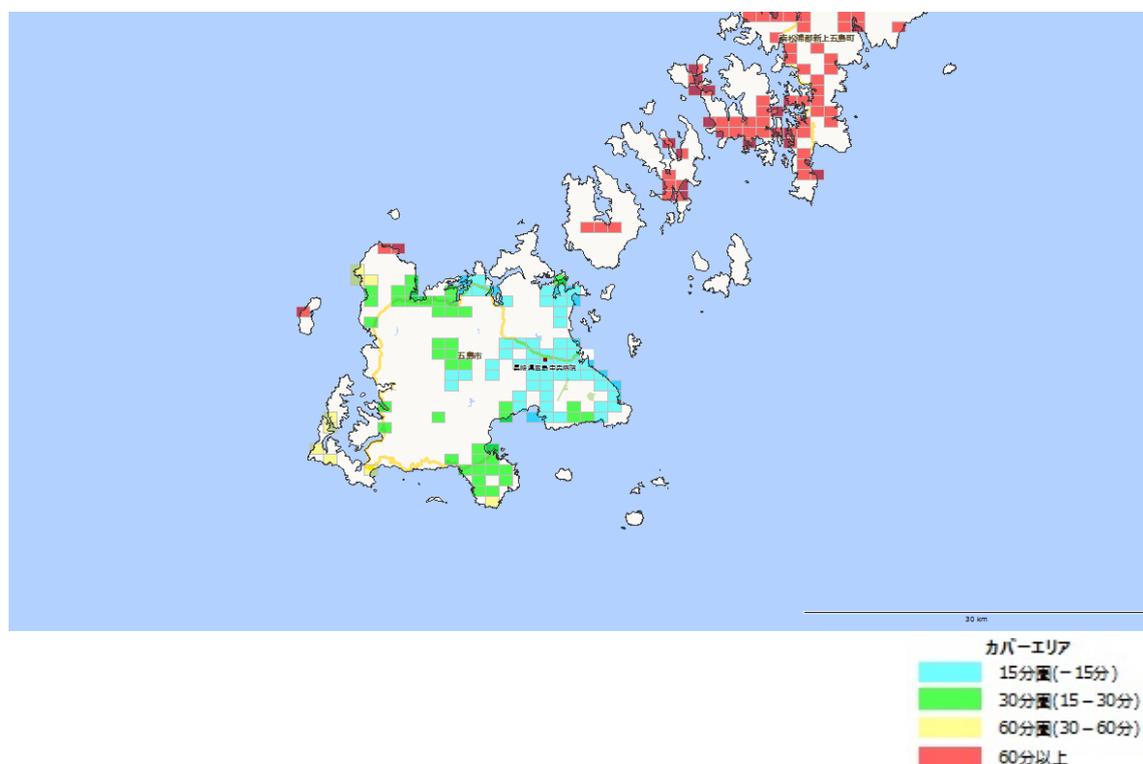
(五島医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

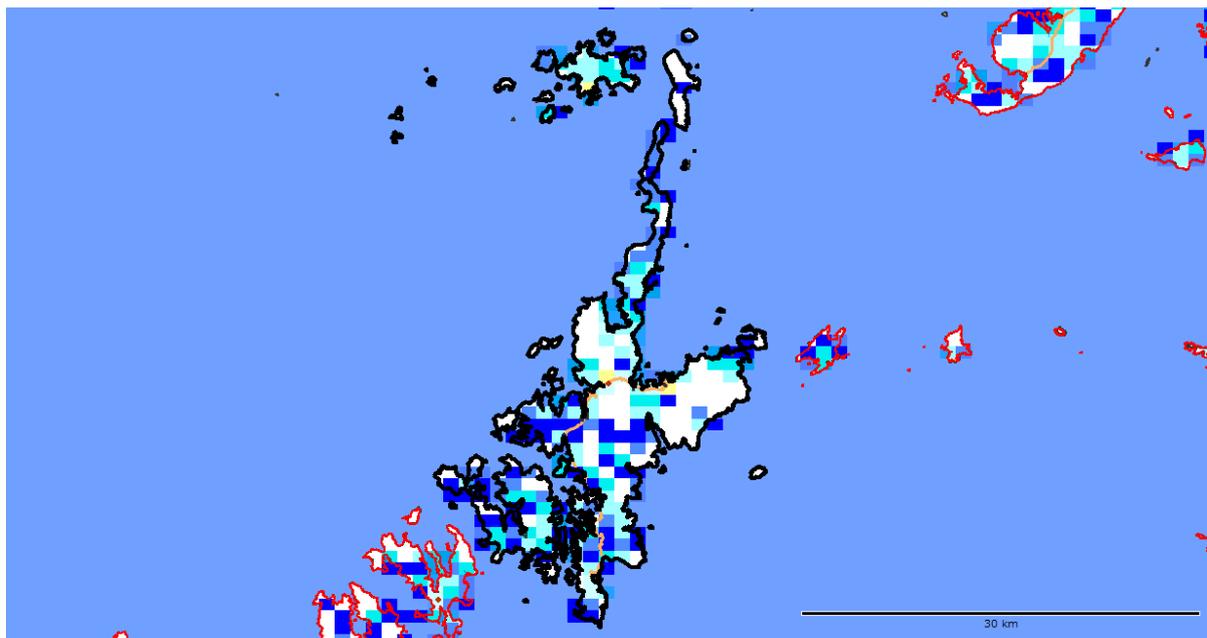


# 42-6. かみごとう 上五島医療圏

構成市区町村 [小値賀町](#) [新上五島町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

## (上五島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 上五島(北松浦郡小値賀町、南松浦郡新上五島町)は、総人口約22千人(2015年)、面積239km<sup>2</sup>、人口密度は93人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 上五島の総人口は2025年に17千人へと減少し(2015年比-23%)、2040年に10千人へと減少する(2025年比-41%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて5千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には4千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 上五島の一人当たり医療費(国保)は396千円(偏差値59)、介護給付費は318千円(偏差値69)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 上五島の一人当たり急性期医療密度指数は0.51、一人当たり慢性期医療密度指数は2.75で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が38(病院医師数42、診療所医師数31)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数は0件である。上五島には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 上五島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、523人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が395床(偏差値64)、高齢者住宅等が128床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、554人(75歳以上1,000人当たりの偏差値80)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム66、サ高住35である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院は偏差値65と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、35人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+26%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (上五島医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

上五島医療圏の総人口は、2005年28,307人が、2015年に22,278人と21%減少し、2025年の人口が16,930人と予測され、2005年→2025年の間に40%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に9%減少し、2015年から2025年にかけて13%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

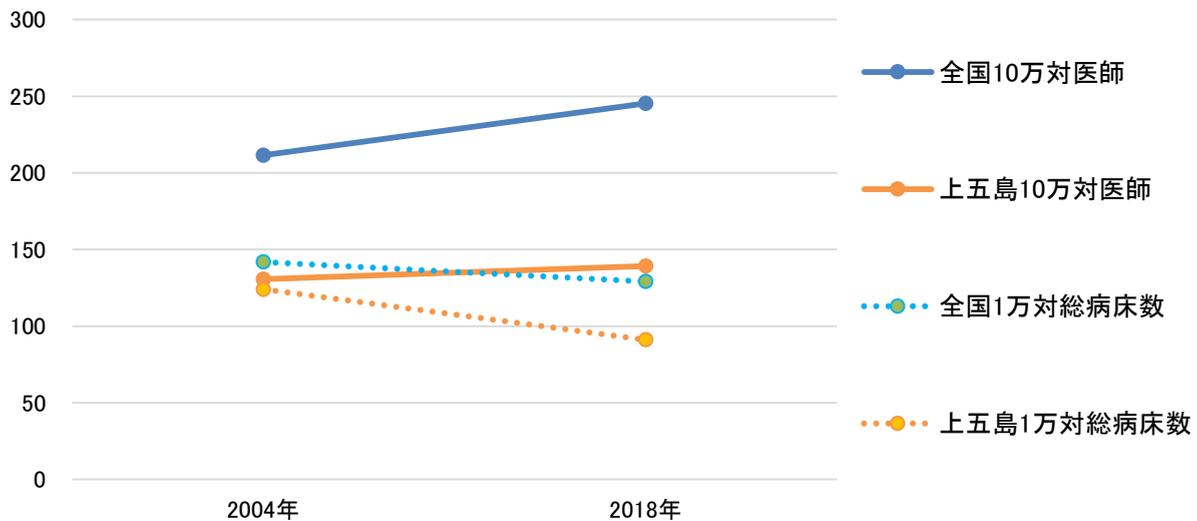
2004年の病院数が3(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2018年に1(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が22(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2018年に22(人口10万人当たり99診療所(全国平均80)偏差値60)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が351床(人口1万人当たり124(全国平均142)偏差値47)であったが、2018年に203床(人口1万人当たり91(全国平均129)偏差値43)と、148床の減少、率にして42%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

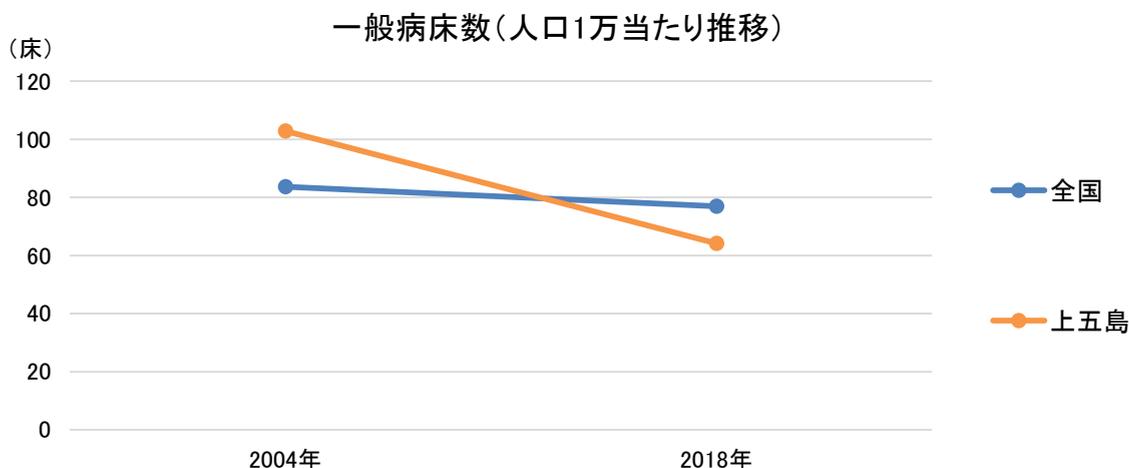
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が37人(人口10万人当たり131人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2018年に31人(人口10万人当たり139人(全国平均245人)偏差値38)と、6人の減少、率にして16%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



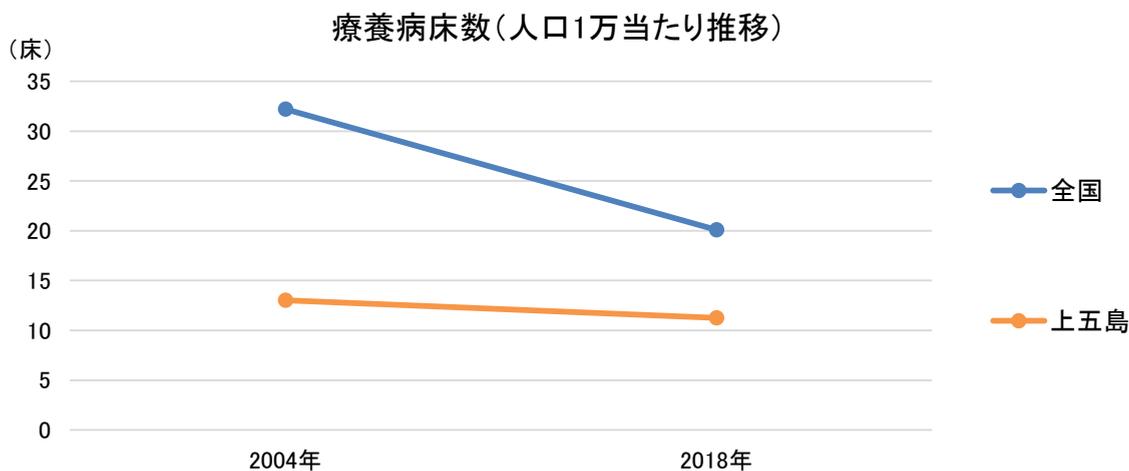
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が291床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2018年に143床(人口1万人当たり64(全国平均77)偏差値45)と、148床の減少、率にして51%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



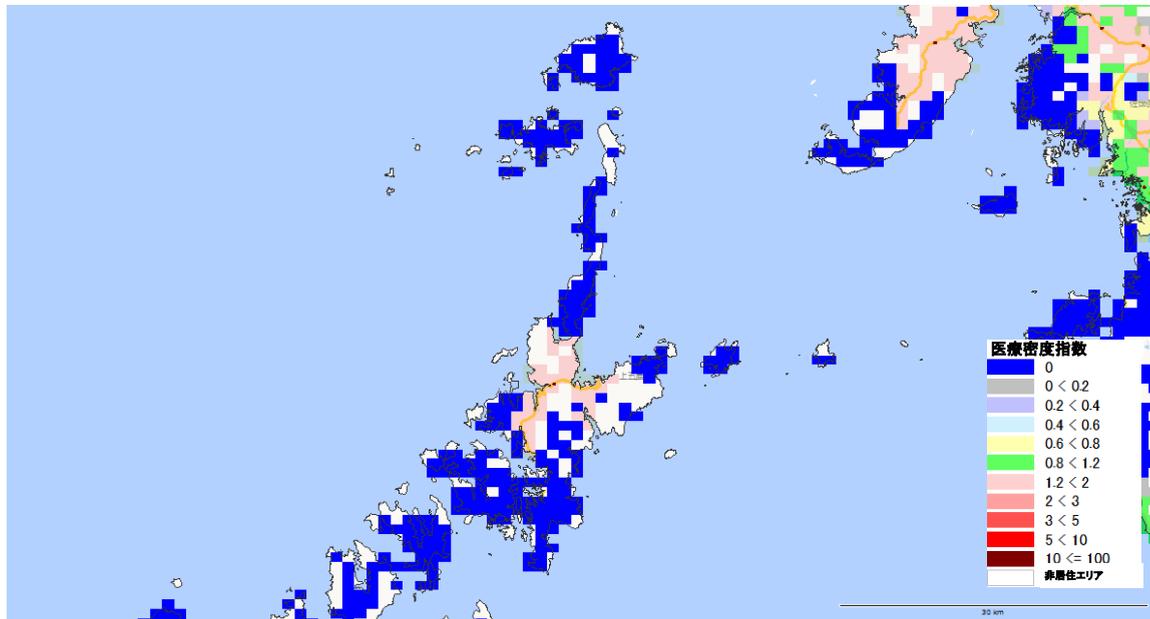
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が56床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2018年に56床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値42)と、増減がなかった(全国平均12%の減少)。



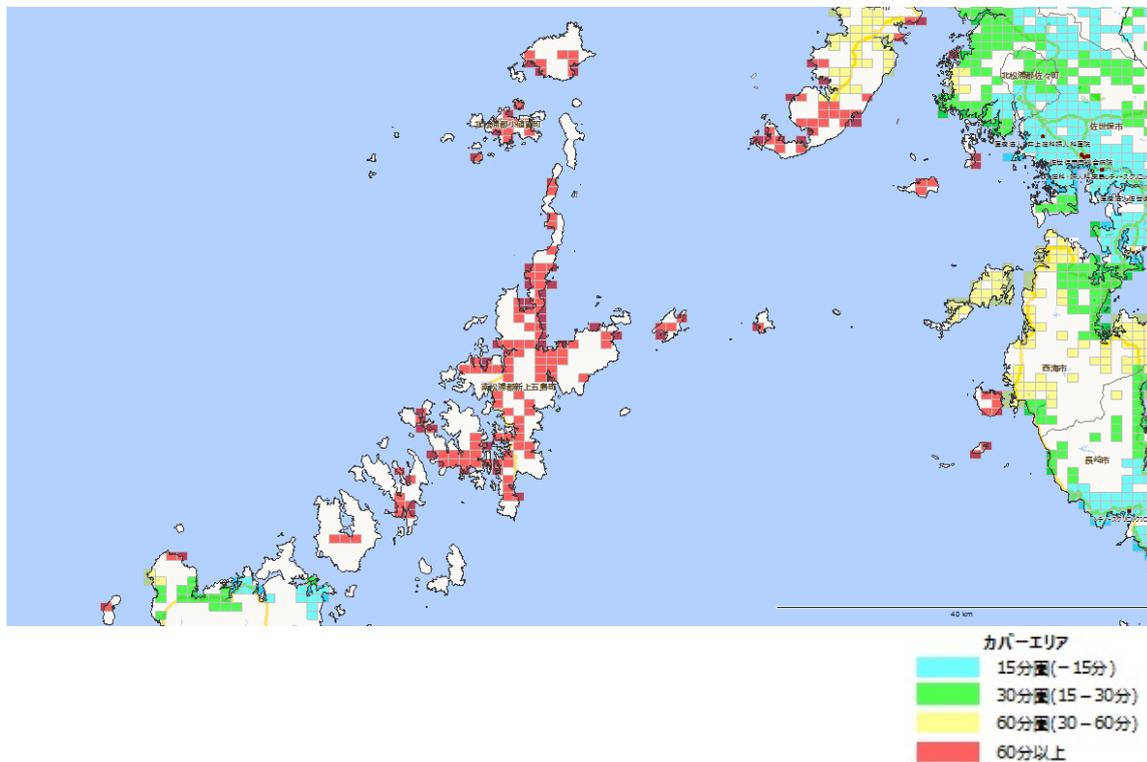
## (上五島医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

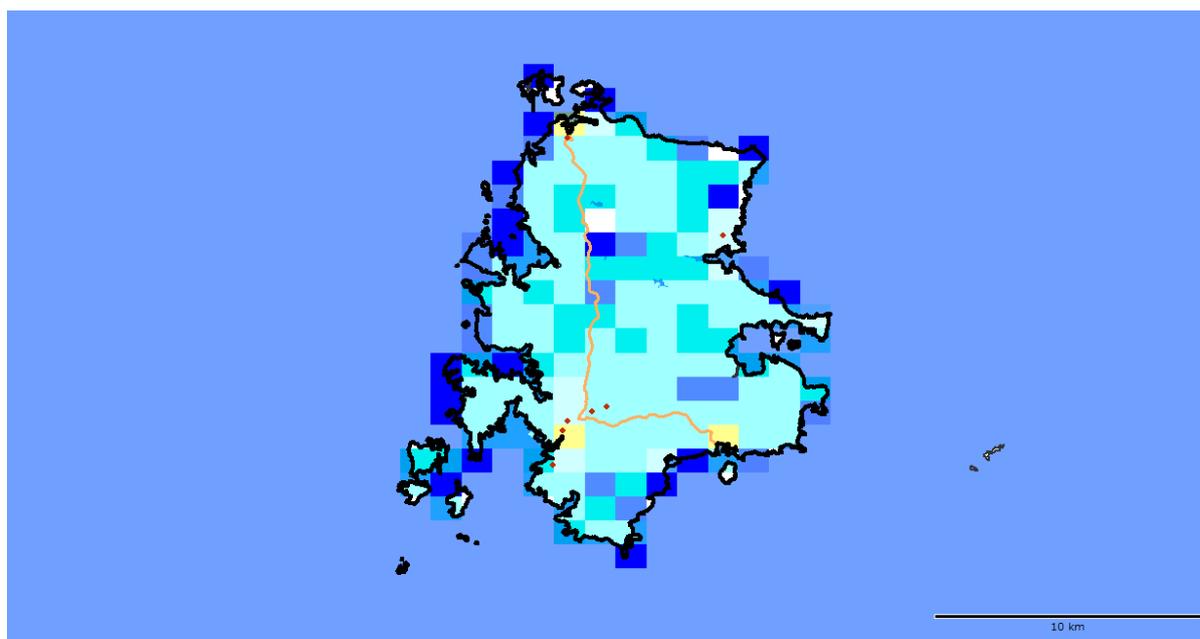


# 42-7. い き 壱岐医療圏

構成市区町村 [壱岐市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (壱岐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 壱岐(壱岐市)は、総人口約27千人(2015年)、面積139km<sup>2</sup>、人口密度は194人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 壱岐の総人口は2025年に23千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に16千人へと減少する(2025年比-30%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて5千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には5千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 壱岐の一人当たり医療費(国保)は418千円(偏差値64)、介護給付費は287千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 壱岐の一人当たり急性期医療密度指数は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数は0.82で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が40(病院医師数42、診療所医師数34)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。壱岐には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は69と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 壱岐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、418人(75歳以上1,000人当たりの偏差値33)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が380床(偏差値57)、高齢者住宅等が38床(偏差値27)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、402人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム34、サ高住35である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値63と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値35と少ない。介護職員(在宅)の合計は、79人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (壱岐医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

壱岐医療圏の総人口は、2005年31,414人が、2015年に27,103人と14%減少し、2025年の人口が22,644人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて9%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

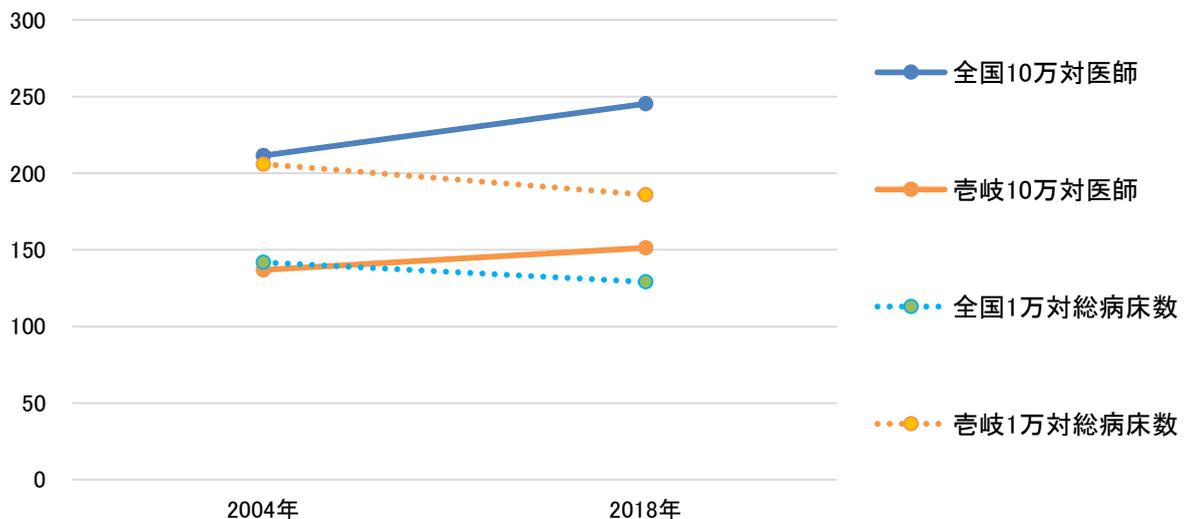
2004年の病院数が7(人口10万人当たり22.3病院(全国平均7.1)偏差値89)であったが、2018年に5(人口10万人当たり18.4病院(全国平均6.6)偏差値80)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が15(人口10万人当たり48診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2018年に17(人口10万人当たり63診療所(全国平均80)偏差値41)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が647床(人口1万人当たり206(全国平均142)偏差値61)であったが、2018年に504床(人口1万人当たり186(全国平均129)偏差値61)と、143床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

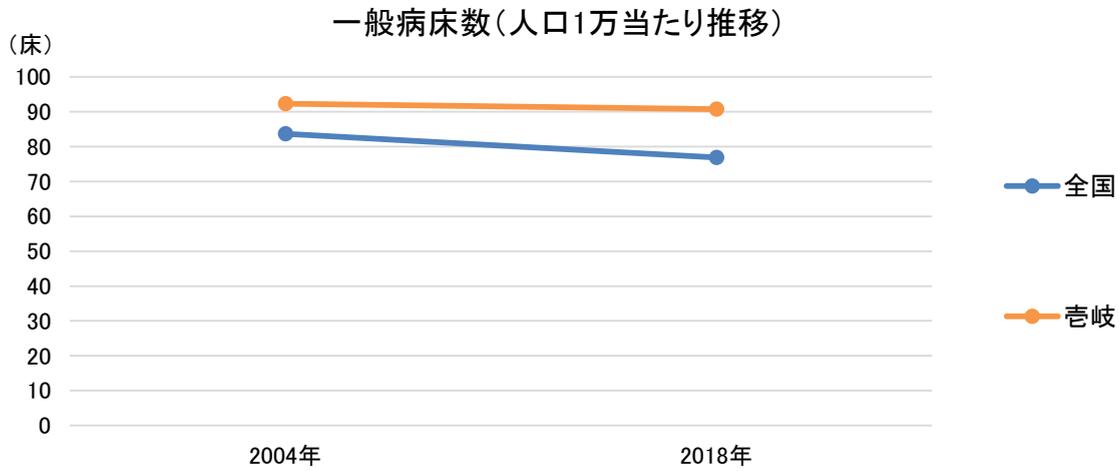
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が43人(人口10万人当たり137人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2018年に41人(人口10万人当たり151人(全国平均245人)偏差値40)と、2人の減少、率にして5%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



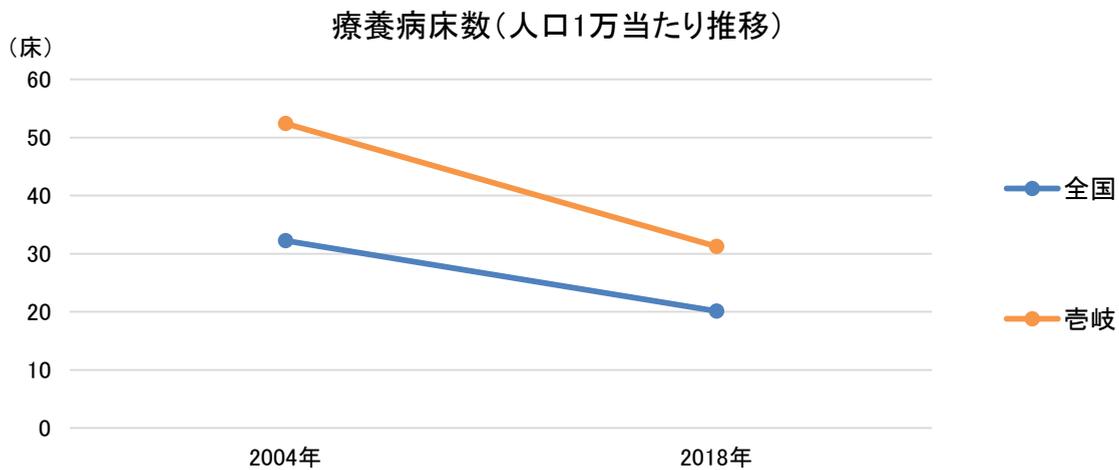
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が290床(人口1万人当たり92(全国平均84)偏差値53)であったが、2018年に246床(人口1万人当たり91(全国平均77)偏差値55)と、44床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



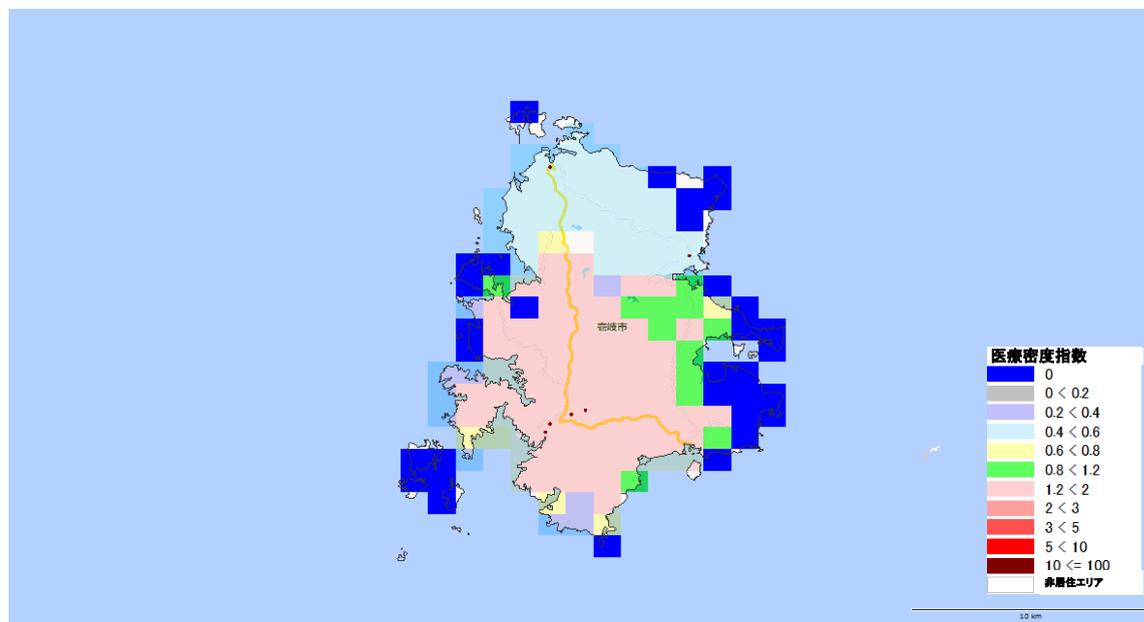
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が253床(75歳以上1,000人当たり52(全国平均32)偏差値61)であったが、2018年に170床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均20)偏差値60)と、83床の減少、率にして33%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



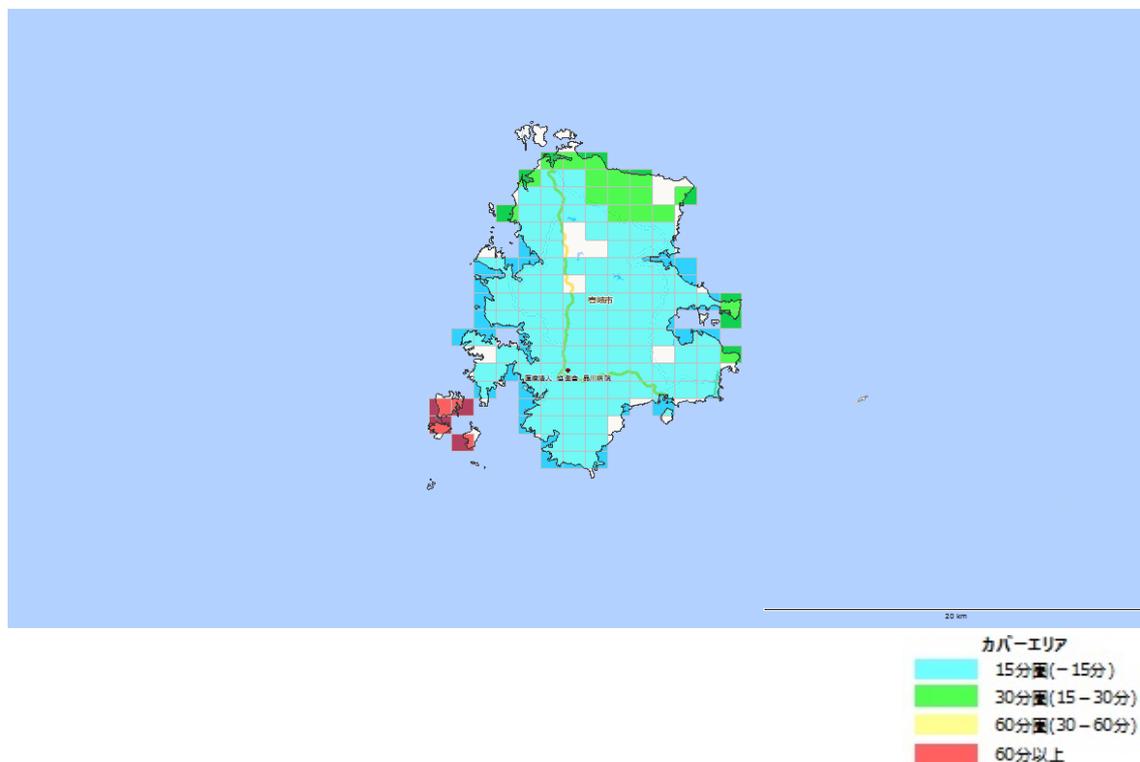
(壱岐医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

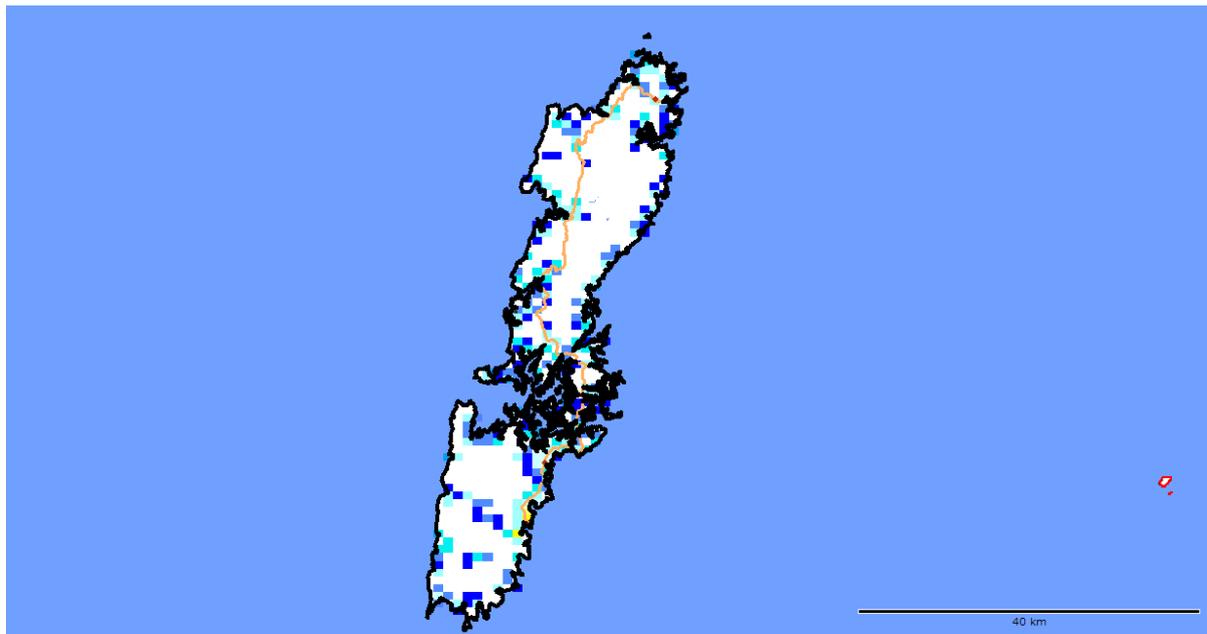


# 42-8. つしま 対馬医療圏

構成市区町村 [対馬市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院

● I 群

● II 群

● III 群

● 一般病院

## (対馬医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 対馬(対馬市)は、総人口約31千人(2015年)、面積709km<sup>2</sup>、人口密度は44人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 対馬の総人口は2025年に25千人へと減少し(2015年比-19%)、2040年に16千人へと減少する(2025年比-36%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の6千人が、2025年にかけて6千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には5千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 対馬の一人当たり医療費(国保)は364千円(偏差値52)、介護給付費は275千円(偏差値56)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 対馬の一人当たり急性期医療密度指数は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数は2.05で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数45、診療所医師数36)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。対馬には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 療養病床は0である。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 対馬の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、562人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が440床(偏差値61)、高齢者住宅等が122床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、487人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホーム84、グループホーム50、サ高住なし(偏差値30)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値34と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、31人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (対馬医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

対馬医療圏の総人口は、2005年38,481人が、2015年に31,457人と18%減少し、2025年の人口が24,876人と予測され、2005年→2025年の間に35%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

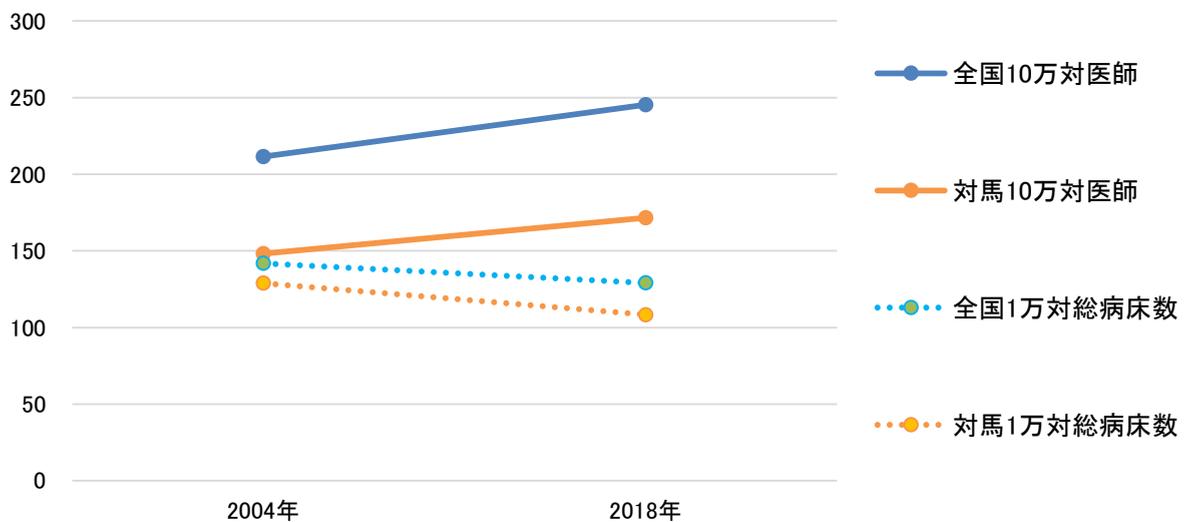
2004年の病院数が3(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2018年に2(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が33(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2018年に33(人口10万人当たり105診療所(全国平均80)偏差値63)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が496床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2018年に341床(人口1万人当たり108(全国平均129)偏差値46)と、155床の減少、率にして31%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

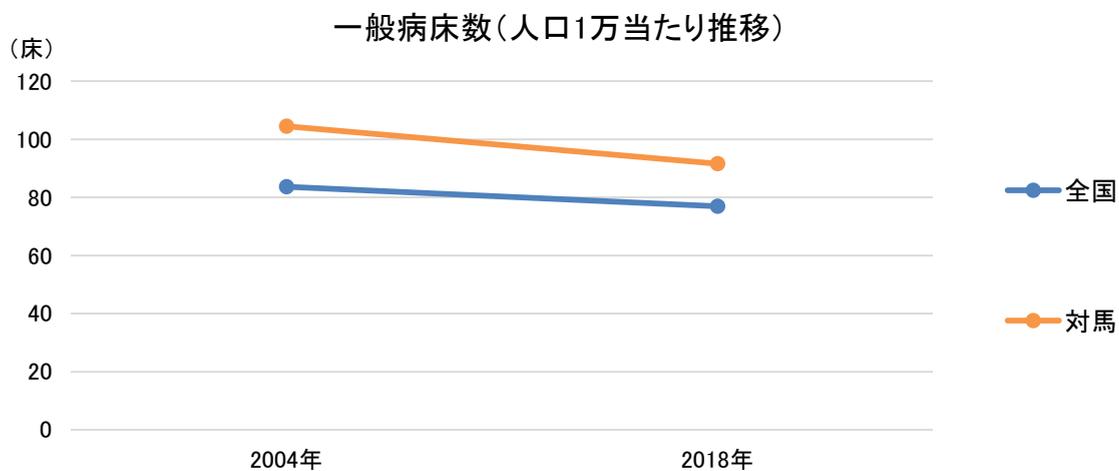
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が57人(人口10万人当たり148人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2018年に54人(人口10万人当たり172人(全国平均245人)偏差値42)と、3人の減少、率にして5%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移

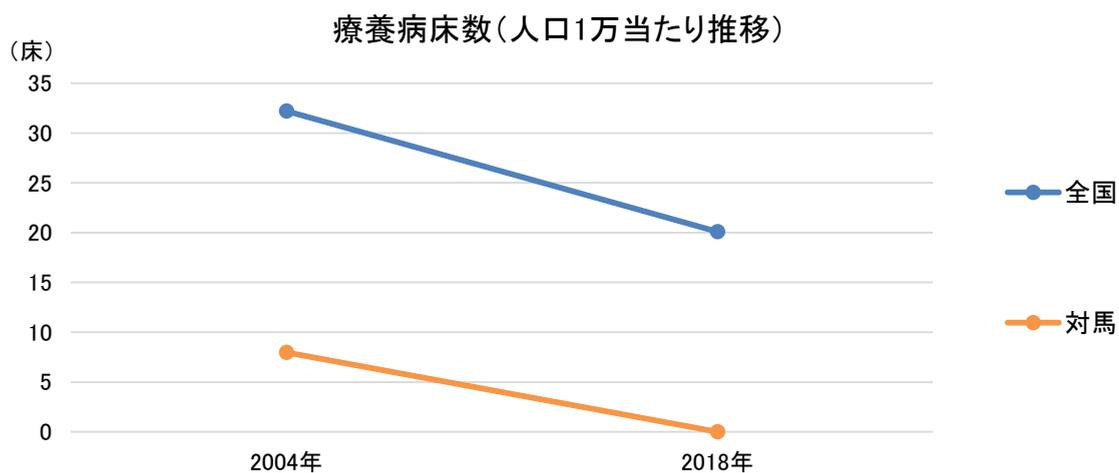


【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が402床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2018年に288床(人口1万人当たり92(全国平均77)偏差値56)と、114床の減少、率にして28%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

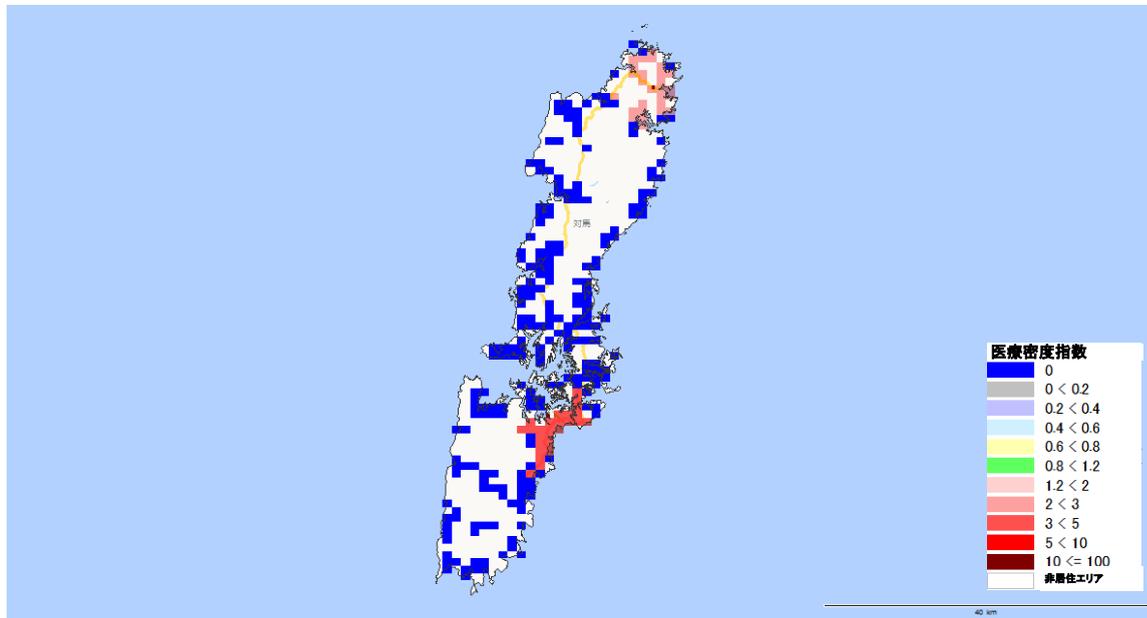


【療養病床の推移】



## (対馬医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

